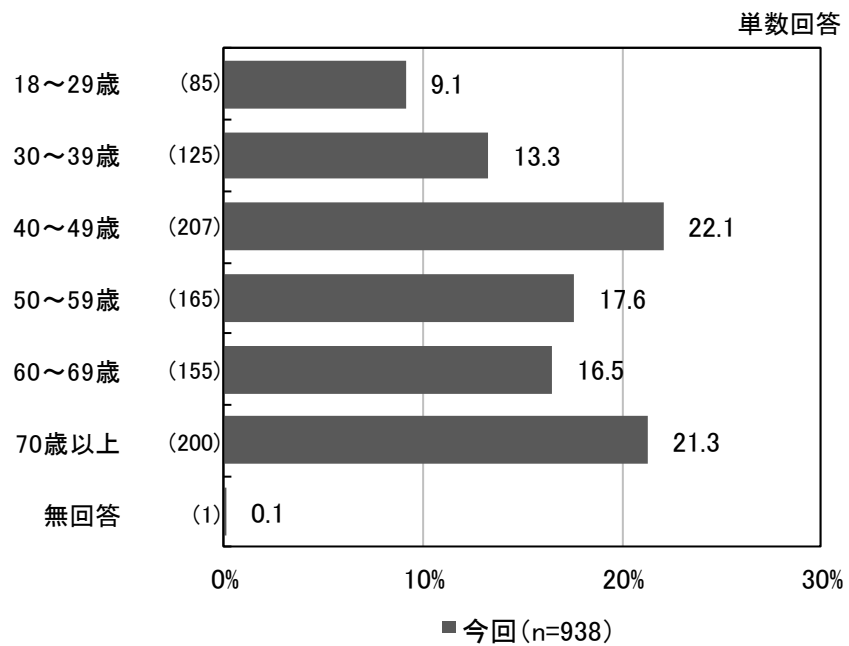


## 2. 回答者の属性

### 問1 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

回答者の構成年齢は、「40～49歳」が22.1%で最も多く、次いで「70歳以上」が21.3%、「50～59歳」が17.6%と続いている。



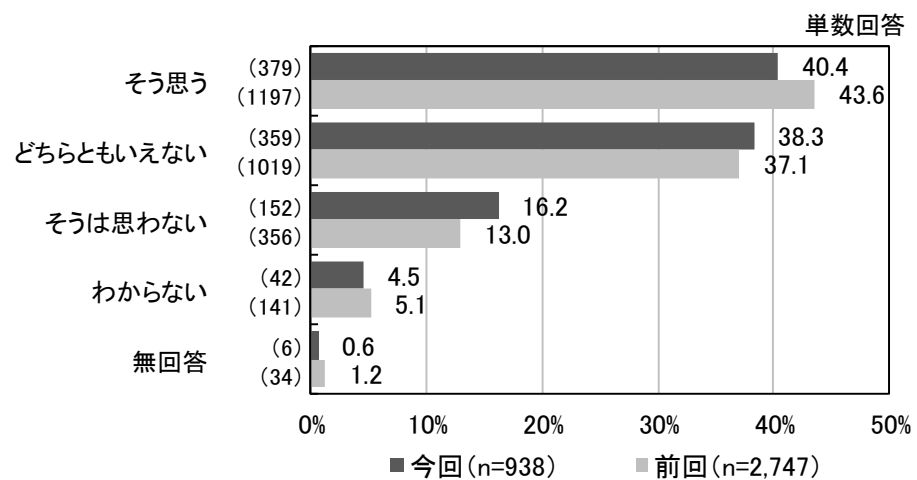
### 3. 調査結果の概要

#### 1. 人権全般について

問2 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思いますか。次の中から1つお選びください。

「そう思う」が40.4%で、「そうは思わない」の16.2%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が38.3%となっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



#### 【年齢別】

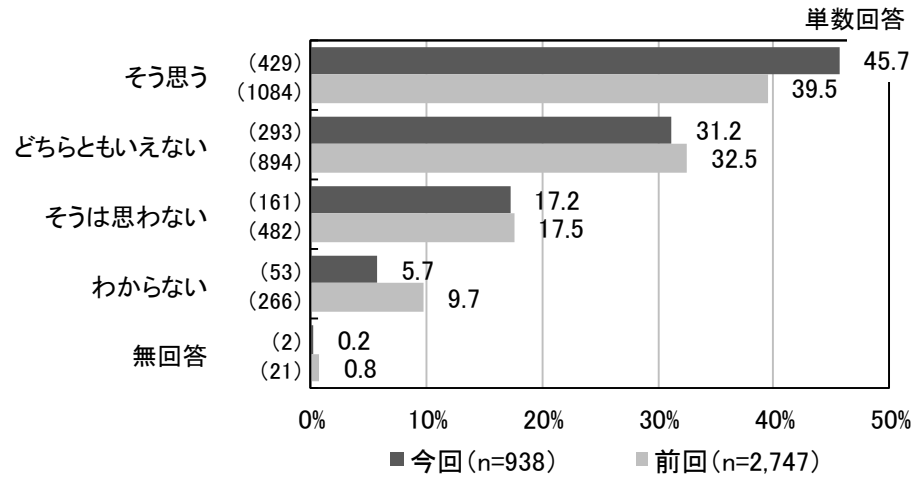
年齢別で見ると、「そう思う」は18～29歳で低く20%台であり、30歳以上で40%台となっている。18～29歳は「どちらともいえない」が最も高く、「そうは思わない」も20%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
そう思う	28.2%	45.6%	40.1%	43.6%	40.6%	40.0%
どちらともいえない	36.5%	33.6%	38.6%	43.6%	36.1%	38.5%
そうは思わない	21.2%	18.4%	16.9%	9.1%	19.4%	15.5%
わからない	14.1%	1.6%	3.9%	3.0%	3.9%	4.5%
無回答	0.0%	0.8%	0.5%	0.6%	0.0%	1.5%

**問3 国民一人ひとりの人権意識は、以前に比べて高くなっていると思いますか。次の中から1つお選びください。**

「そう思う」が45.7%で、「そうは思わない」の17.2%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が31.2%となっている。

前回調査と比較すると、「そう思う」が6.2ポイント増加している。



**【年齢別】**

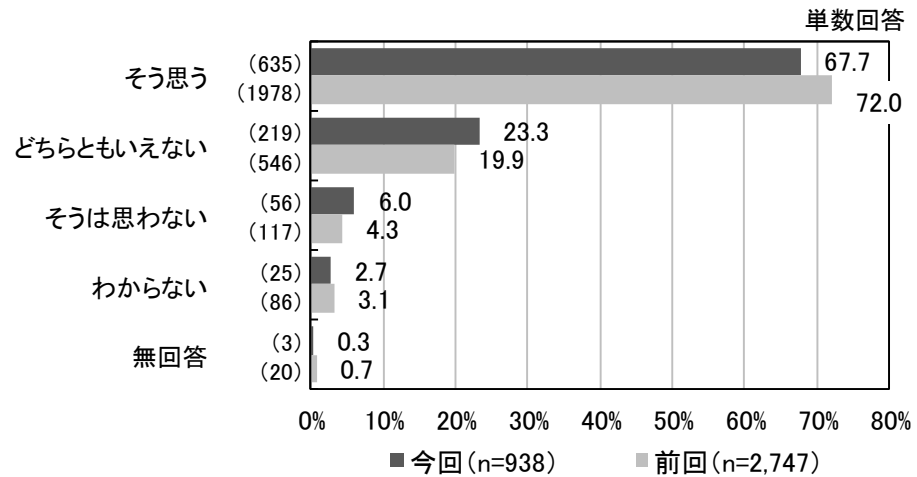
年齢別で見ると、「そう思う」はすべての年齢で40%台となっている。また、「そうは思わない」は年代が上がるにつれて、割合が低くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
そう思う	43.5%	43.2%	46.4%	49.1%	43.2%	46.5%
どちらともいえない	21.2%	32.0%	30.9%	27.9%	37.4%	33.5%
そうは思わない	23.5%	20.8%	19.3%	15.8%	15.5%	12.5%
わからない	11.8%	4.0%	3.4%	6.7%	3.9%	7.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.5%

問4 「近ごろ、人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見がありますが、あなたはこの意見についてどう思いますか。次の中から1つお選びください。

「そう思う」が67.7%で、「そうは思わない」の6.0%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が23.3%となっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



#### 【年齢別】

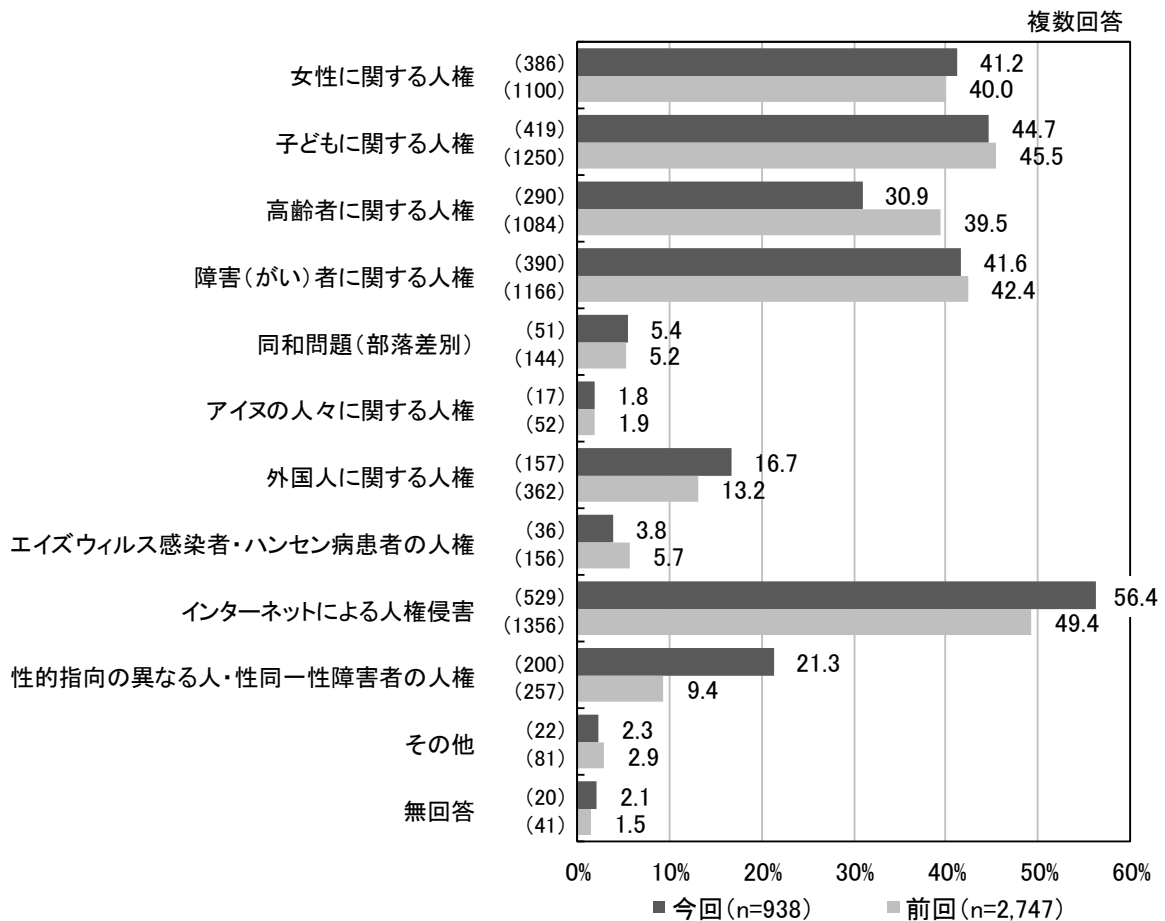
年齢別で見ると、「そう思う」は18～29歳で50%台、30～59歳で60%台、60歳以上で70%台となっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
そう思う	55.3%	65.6%	65.7%	64.8%	72.3%	75.5%
どちらともいえない	25.9%	23.2%	26.1%	29.1%	19.4%	17.5%
そうは思わない	10.6%	6.4%	5.8%	5.5%	5.8%	4.5%
わからない	8.2%	4.0%	1.9%	0.6%	1.9%	2.5%
無回答	0.0%	0.8%	0.5%	0.0%	0.6%	0.0%

**問5 日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心をお持ちのものを次の中から3つまでお選びください。**

「インターネットによる人権侵害」が56.4%で最も高く、次いで「子どもに関する人権」が44.7%、「障害（がい）者に関する人権」が41.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権」が11.9ポイント増加、「インターネットによる人権侵害」が7.0ポイント増加、「高齢者に関する人権」が8.6ポイント減少している。



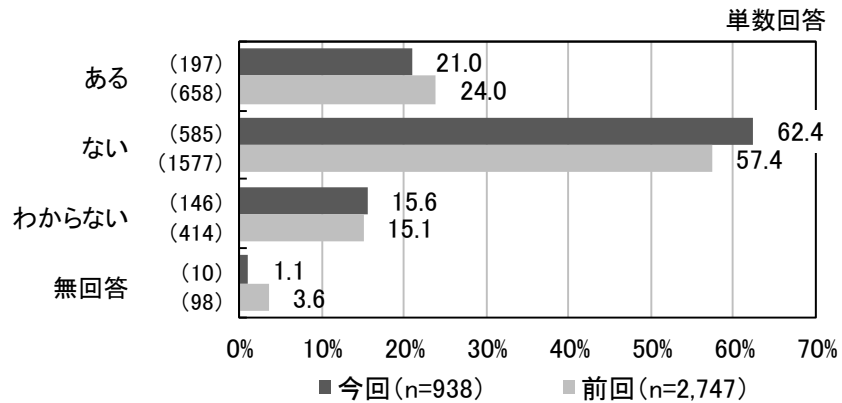
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳と40～69歳で「インターネットによる人権侵害」、30～39歳で「子どもに関する人権」、70歳以上で「高齢者に関する人権」がそれぞれ最も高くなっている。また、「性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権」は、18～29歳で40.0%と、他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
女性に関する人権	49.4%	56.0%	40.1%	35.8%	34.8%	39.0%
子どもに関する人権	38.8%	57.6%	44.9%	35.2%	45.8%	45.5%
高齢者に関する人権	14.1%	12.8%	19.3%	28.5%	45.2%	52.5%
障害（がい）者に関する人権	45.9%	35.2%	42.5%	34.5%	48.4%	43.5%
同和問題（部落差別）	3.5%	4.8%	7.2%	4.2%	1.3%	8.5%
アイヌの人々に関する人権	0.0%	2.4%	1.9%	0.6%	1.9%	3.0%
外国人に関する人権	16.5%	11.2%	20.8%	20.6%	12.9%	16.0%
エイズウイルス感染者・ハンセン病患者の人権	5.9%	0.8%	4.3%	3.6%	4.5%	4.0%
インターネットによる人権侵害	61.2%	49.6%	61.8%	69.1%	54.2%	44.0%
性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権	40.0%	31.2%	25.6%	20.6%	12.3%	10.5%
その他	1.2%	4.8%	2.4%	1.2%	2.6%	2.0%
無回答	0.0%	1.6%	1.0%	1.8%	1.9%	5.0%

**問6 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。次の中から1つお選びください。**

「ある」が21.0%、「ない」が62.4%となっている。  
 前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



**【年齢別】**

年齢別で見ると、「ある」は18～29歳と70歳以上で10%台、30～69歳で20%台となっている。また、18～29歳で「わからない」が23.5%と他の年代と比べて高くなっている。

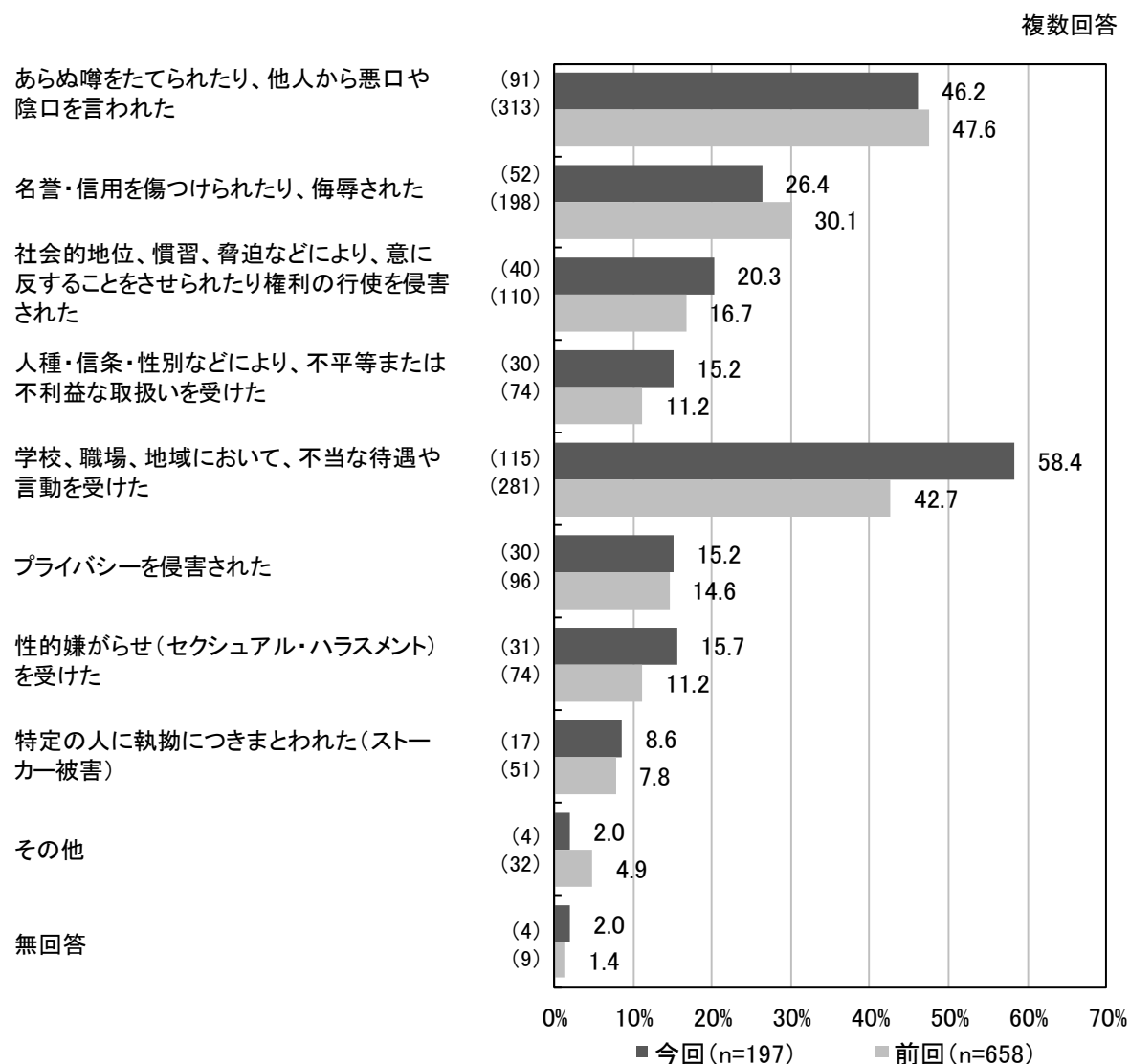
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
ある	16.5%	24.8%	21.7%	26.1%	22.6%	14.5%
ない	60.0%	63.2%	58.9%	58.2%	63.2%	69.0%
わからない	23.5%	12.0%	18.8%	15.2%	12.3%	14.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	1.9%	2.5%

(問6で「1 ある」と答えた方におたずねします。)

**問7 どのような人権侵害でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。**

「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」が58.4%で最も高く、次いで「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が46.2%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が26.4%と続いている。

前回調査と比較すると、「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」が15.7ポイント増加している。



※「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」の選択肢は、前回は「職場において、不当な待遇や言動を受けた」となっている。



## 【年齢別】

年齢別で見ると、40～49歳と70歳以上で「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」、それ以外の年代で「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」、がそれぞれ最も高くなっている。

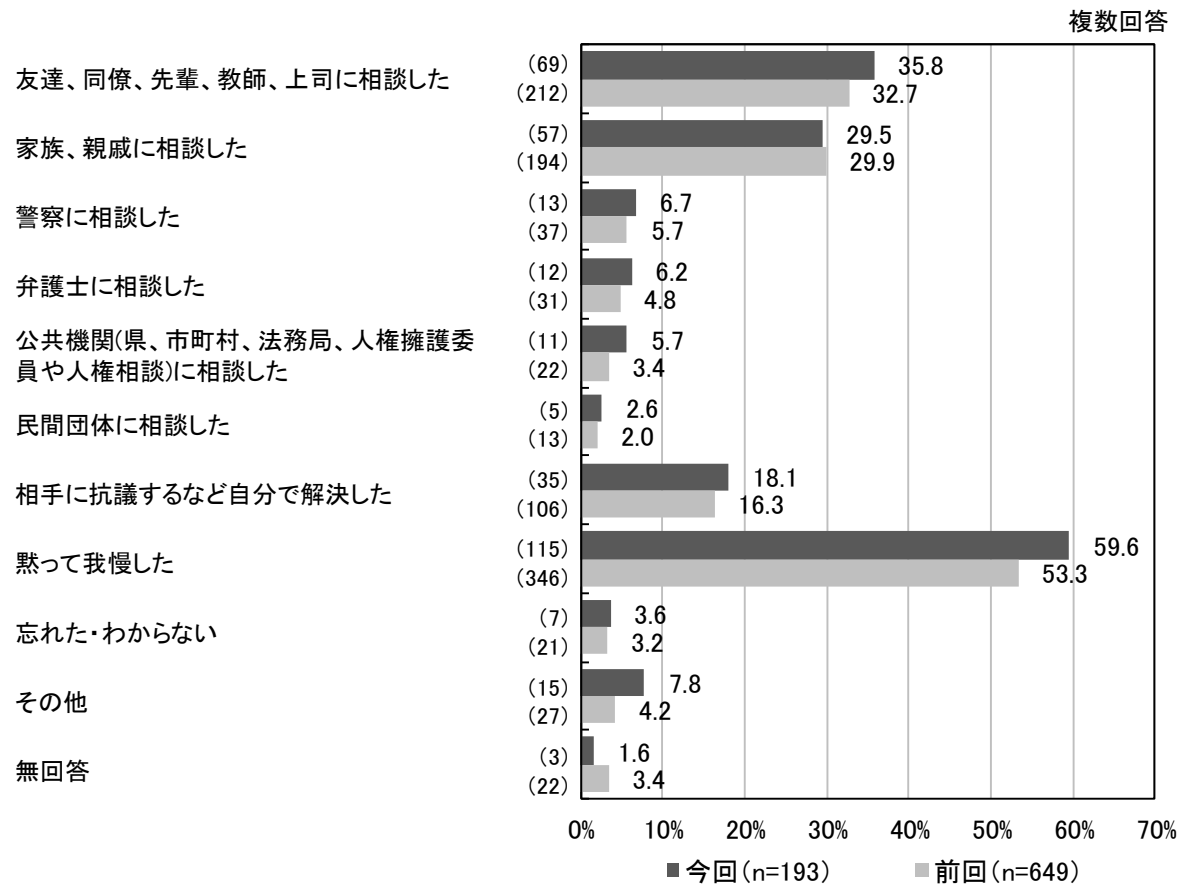
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	14人	31人	45人	43人	35人	29人
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	64.3%	48.4%	55.6%	34.9%	37.1%	48.3%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	28.6%	25.8%	26.7%	32.6%	28.6%	13.8%
社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された	14.3%	12.9%	31.1%	23.3%	20.0%	10.3%
人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた	14.3%	16.1%	22.2%	14.0%	11.4%	10.3%
学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた	78.6%	80.6%	53.3%	65.1%	45.7%	37.9%
プライバシーを侵害された	21.4%	19.4%	8.9%	16.3%	17.1%	13.8%
性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	14.3%	25.8%	22.2%	16.3%	5.7%	6.9%
特定の人に執拗につきまとわれた（ストーカー被害）	0.0%	16.1%	6.7%	14.0%	2.9%	6.9%
その他	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	2.9%	6.9%
無回答	7.1%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	6.9%

(問7で答えた方におたずねします。)

**問8 その時、どうされましたか。次の中から該当するものすべてお選びください。**

「黙って我慢した」が59.6%で最も高く、次いで「友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した」が35.8%、「家族、親戚に相談した」が29.5%と続いている。

前回調査と比較すると、「黙って我慢した」が6.3ポイント増加している。



※「友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した」の選択肢は、前回は「友達、同僚、上司に相談した」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「黙って我慢した」が最も高く、特に30～39歳で77.4%と高くなっている。また、18～29歳で「友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した」と「家族、親戚に相談した」、「相手に抗議するなど自分で解決した」が他の年代に比べて高くなっている。

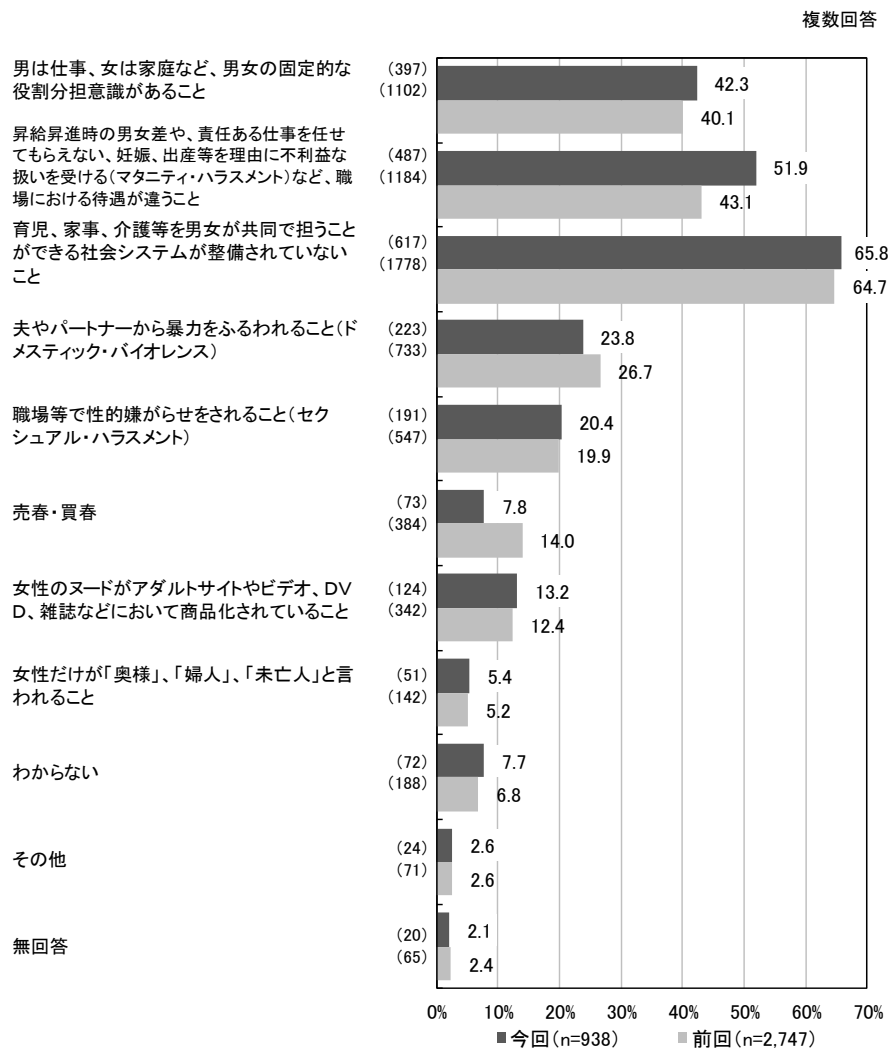
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	13人	31人	44人	43人	35人	27人
友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した	53.8%	38.7%	40.9%	39.5%	28.6%	18.5%
家族、親戚に相談した	46.2%	38.7%	31.8%	23.3%	28.6%	18.5%
警察に相談した	0.0%	6.5%	2.3%	4.7%	11.4%	14.8%
弁護士に相談した	7.7%	0.0%	2.3%	7.0%	14.3%	7.4%
公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した	7.7%	3.2%	2.3%	7.0%	8.6%	7.4%
民間団体に相談した	7.7%	0.0%	2.3%	4.7%	2.9%	0.0%
相手に抗議するなど自分で解決した	30.8%	12.9%	15.9%	16.3%	17.1%	25.9%
黙って我慢した	69.2%	77.4%	63.6%	53.5%	40.0%	63.0%
忘れた・わからない	7.7%	3.2%	0.0%	7.0%	2.9%	3.7%
その他	0.0%	0.0%	11.4%	7.0%	17.1%	3.7%
無回答	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%

## 2. 女性に関する人権について

問9 女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が65.8%で最も高く、次いで「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」が51.9%、「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること」が42.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」が8.8ポイント増加、「売春・買春」が6.2ポイント減少している。



※「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」の選択肢は、前回は「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと」となっている。また、「売春・買春」の選択肢は、前回は「売春・買春、援助交際」となっている。さらに、「女性のヌードがアダルトサイトやビデオ、DVD、雑誌などにおいて商品化されていること」の選択肢は、前回は「女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌などにおいて商品化されていること」となっている。

## 【年齢別】

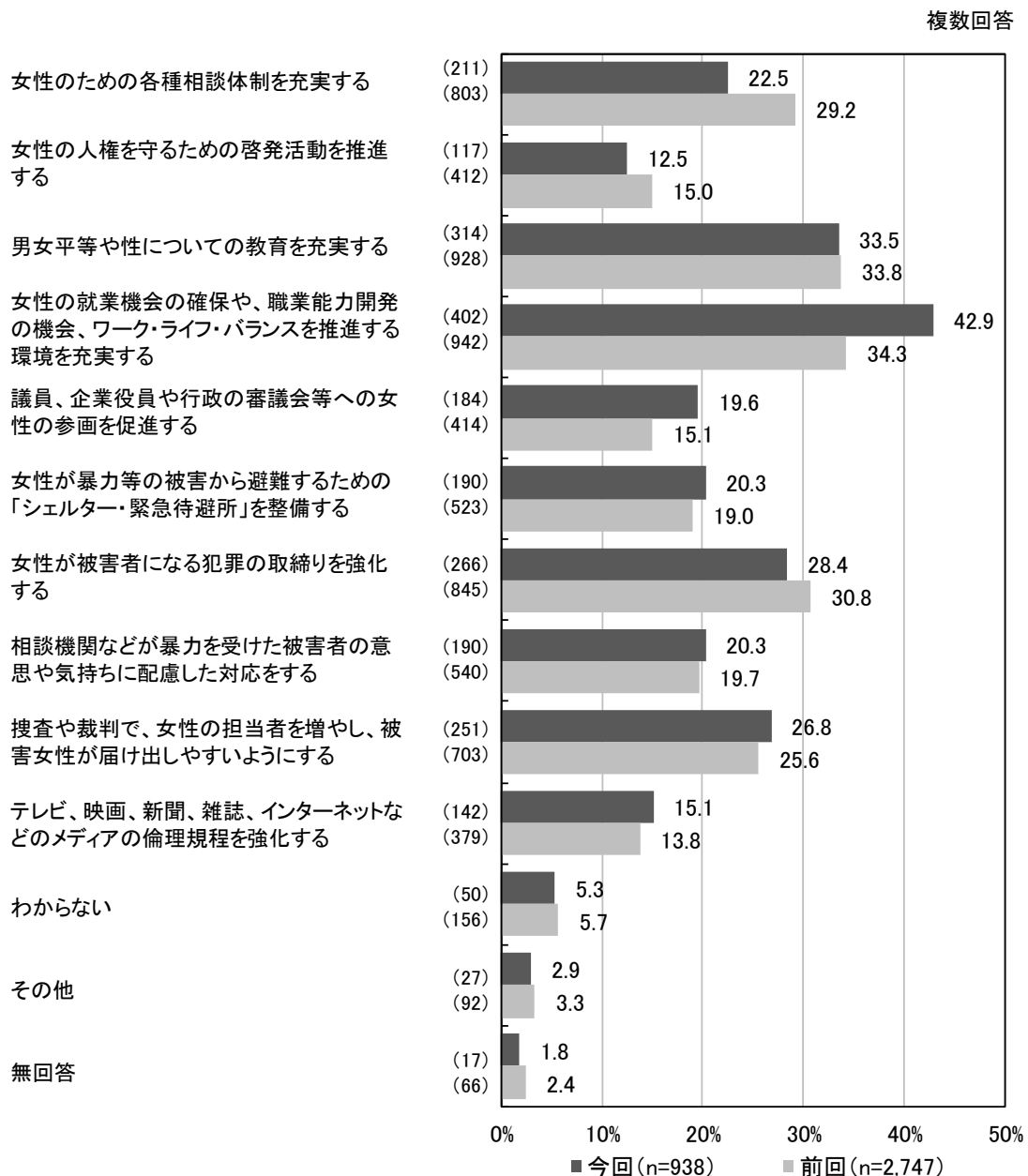
年齢別で見ると、すべての年代で「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が最も高く、特に18～29歳と40～49歳で70%台と高くなっている。また、18～29歳で「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」が70.6%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること	52.9%	47.2%	43.5%	37.6%	34.8%	43.5%
昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと	70.6%	54.4%	49.8%	48.5%	50.3%	48.5%
育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと	71.8%	68.8%	72.5%	58.8%	65.8%	60.0%
夫やパートナーから暴力をふるわれること（ドメスティック・バイオレンス）	18.8%	16.0%	27.5%	32.1%	27.7%	17.0%
職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）	23.5%	18.4%	23.7%	24.2%	21.9%	12.5%
売春・買春	5.9%	8.8%	6.8%	7.3%	9.7%	8.0%
女性のヌードがアダルトサイトやビデオ、DVD、雑誌などにおいて商品化されていること	4.7%	7.2%	5.8%	17.0%	13.5%	24.5%
女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること	3.5%	7.2%	2.4%	3.0%	4.5%	11.0%
わからない	8.2%	4.8%	5.3%	6.7%	11.6%	9.5%
その他	4.7%	4.0%	1.4%	3.6%	1.9%	1.5%
無回答	0.0%	0.8%	2.4%	0.0%	0.6%	6.5%

**問 10 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」が42.9%で最も高く、次いで「男女平等や性についての教育を充実する」が33.5%、「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」が28.4%と続いている。

前回調査と比較すると、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」が8.6ポイント増加、「女性のための各種相談体制を充実する」が6.7ポイント減少している。



※「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」の選択肢は、前回は「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する」となっている。また、「テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規程を強化する」の選択肢は、前回は「テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規程を強化する」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、69歳以下で「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」、70歳以上で「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」がそれぞれ最も高くなっている。また、30～39歳で「男女平等や性についての教育を充実する」が42.4%と他の年代に比べて高くなっている。

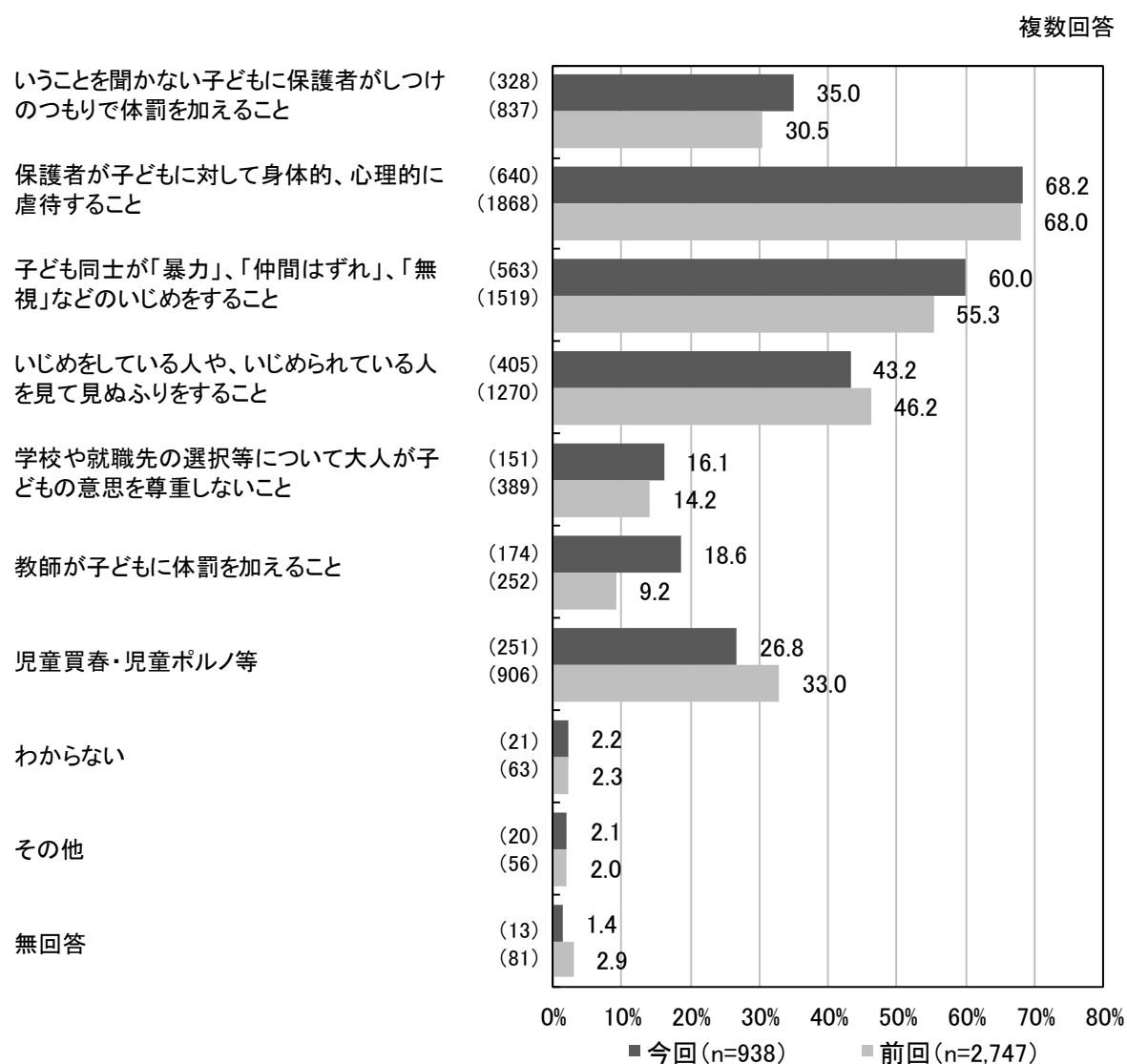
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
女性のための各種相談体制を充実する	17.6%	17.6%	20.3%	19.4%	30.3%	26.5%
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	8.2%	8.8%	10.6%	15.2%	12.9%	15.5%
男女平等や性についての教育を充実する	36.5%	42.4%	31.9%	33.9%	29.0%	31.5%
女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する	57.6%	49.6%	43.0%	42.4%	45.2%	30.5%
議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する	20.0%	17.6%	16.4%	18.2%	17.4%	27.0%
女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する	20.0%	16.8%	20.8%	21.2%	22.6%	19.5%
女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する	20.0%	24.0%	30.4%	27.9%	27.1%	34.0%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	14.1%	13.6%	23.2%	24.2%	24.5%	17.5%
捜査や裁判で、女性の担当を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする	25.9%	20.0%	26.1%	27.9%	27.7%	30.0%
テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規程を強化する	10.6%	17.6%	11.1%	20.0%	14.2%	16.5%
わからない	4.7%	4.8%	4.8%	5.5%	6.5%	5.5%
その他	4.7%	5.6%	4.3%	1.2%	0.6%	2.0%
無回答	1.2%	0.0%	2.4%	0.6%	0.6%	4.5%

### 3. 子どもに関する人権について

問 11 子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。  
次の中から3つまでお選びください。

「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」が68.2%で最も高く、次いで「子ども同士が『暴力』、『仲間はずれ』、『無視』などのいじめをすること」が60.0%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が43.2%と続いている。

前回調査と比較すると、「教師が子どもに体罰を加えること」が9.4ポイント増加、「児童買春・児童ポルノ等」が6.2ポイント減少している。





## 【年齢別】

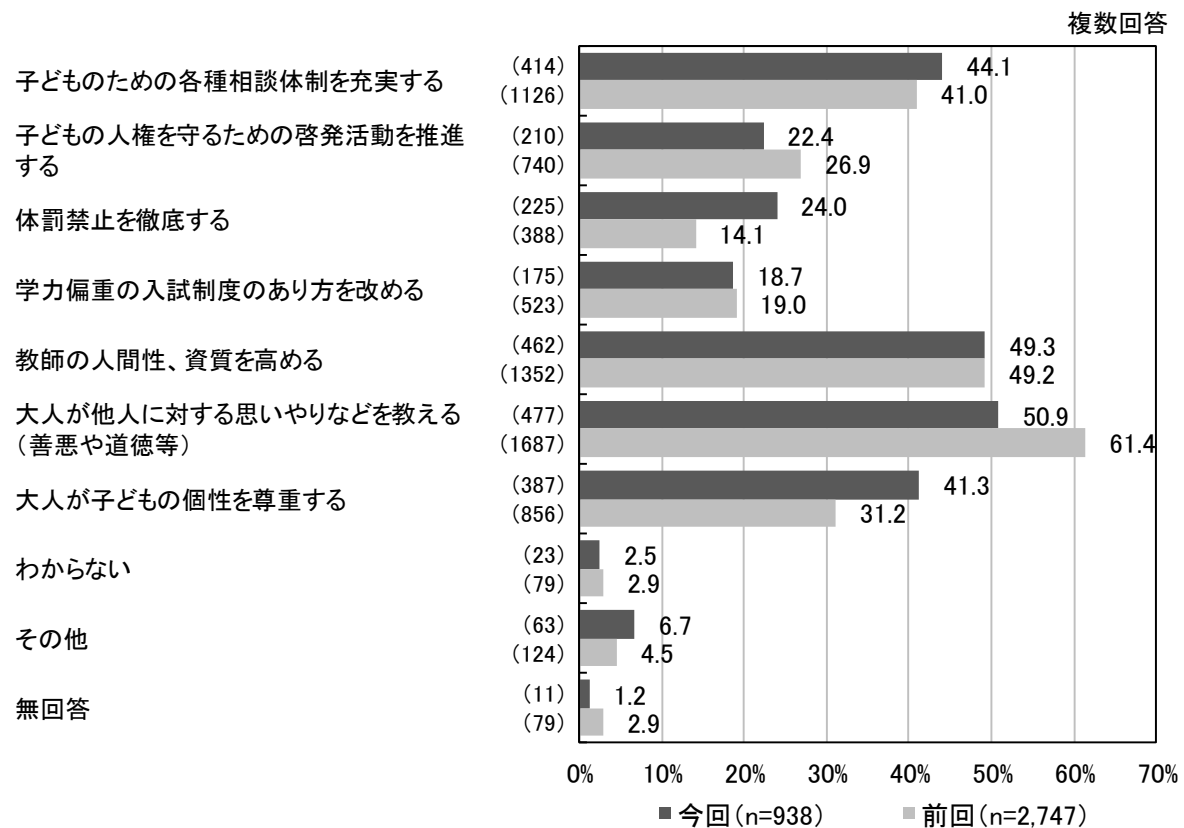
年齢別で見ると、69歳以下で「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」、70歳以上で「子ども同士が『暴力』、『仲間はずれ』、『無視』などのいじめをすること」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～29歳で「学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと」と「教師が子どもに体罰を加えること」が20%台後半と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
いうことを聞かない子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えること	41.2%	32.0%	29.0%	31.5%	41.9%	38.0%
保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること	72.9%	73.6%	71.5%	70.3%	67.7%	58.0%
子ども同士が「暴力」、「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること	51.8%	51.2%	56.0%	66.1%	67.1%	62.5%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする	37.6%	39.2%	42.5%	38.2%	47.7%	49.5%
学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと	29.4%	14.4%	16.4%	10.3%	13.5%	18.0%
教師が子どもに体罰を加えること	27.1%	18.4%	19.8%	17.0%	15.5%	17.5%
児童買春・児童ポルノ等	16.5%	28.0%	30.4%	36.4%	25.2%	19.5%
わからない	1.2%	0.8%	1.9%	1.2%	2.6%	4.5%
その他	1.2%	4.8%	2.9%	1.8%	0.6%	1.5%
無回答	1.2%	0.8%	1.4%	1.2%	0.6%	2.5%

**問 12 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）」が 50.9%で最も高く、次いで「教師の人間性、資質を高める」が 49.3%、「子どものための各種相談体制を充実する」が 44.1%と続いている。

前回調査と比較すると、「大人が子どもの個性を尊重する」が 10.1 ポイント増加、「体罰禁止を徹底する」が 9.9 ポイント増加、「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）」が 10.5 ポイント減少している。



## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「大人が子どもの個性を尊重する」、30歳以上で「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）」がそれぞれ最も高くなっている。また、70歳以上で「学力偏重の入試制度のあり方を改める」が29.0%と他の年代に比べて高くなっている。

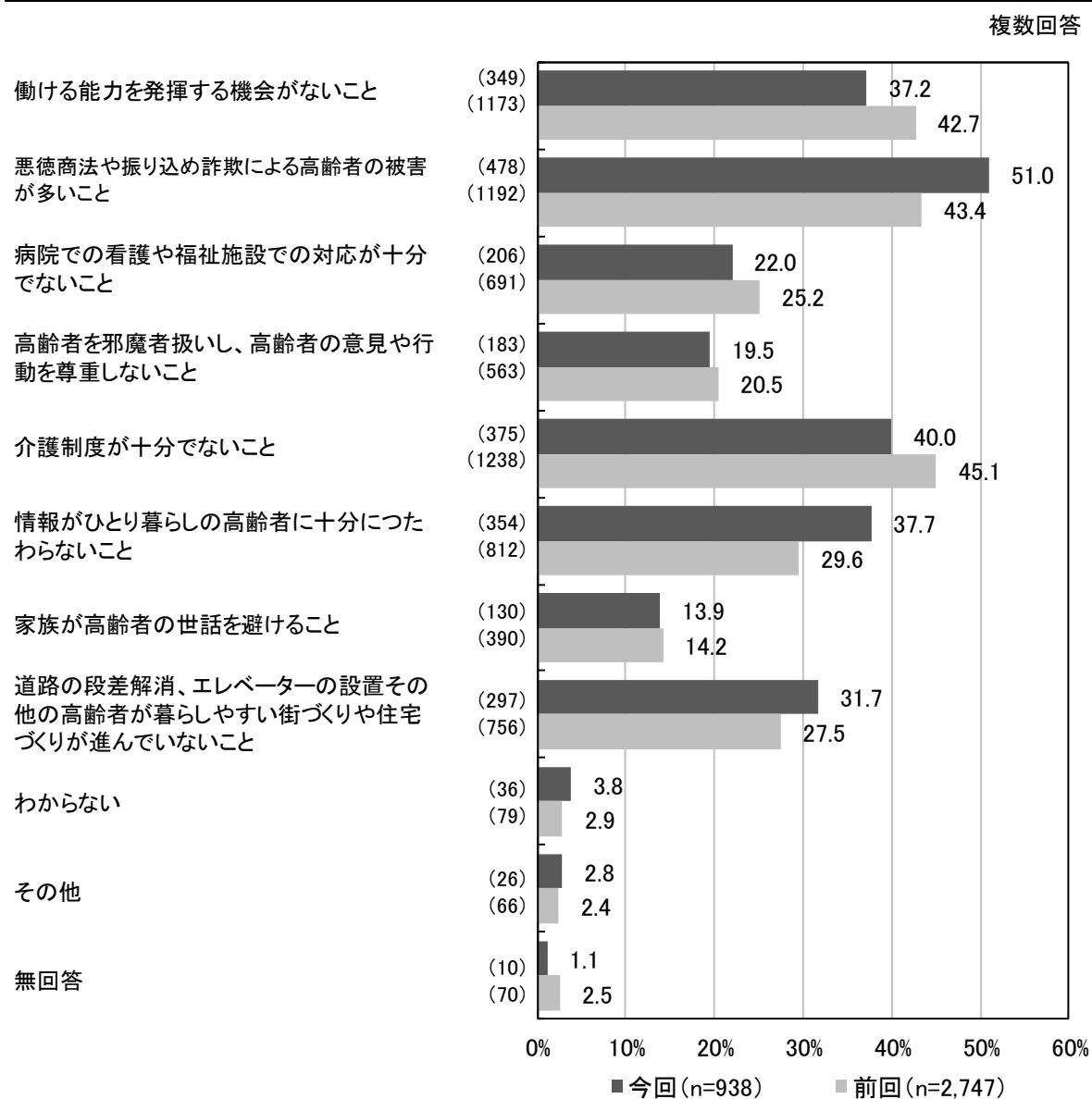
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
子どものための各種相談体制を充実する	35.3%	44.8%	43.0%	46.1%	49.7%	43.0%
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	16.5%	20.8%	20.8%	24.2%	23.2%	25.0%
体罰禁止を徹底する	34.1%	24.0%	14.5%	18.8%	28.4%	30.5%
学力偏重の入試制度のあり方を改める	14.1%	12.0%	15.0%	18.2%	18.1%	29.0%
教師の人間性、資質を高める	51.8%	43.2%	51.7%	44.8%	52.3%	50.5%
大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）	29.4%	46.4%	57.5%	49.1%	53.5%	55.5%
大人が子どもの個性を尊重する	60.0%	36.8%	47.8%	34.5%	36.1%	39.0%
わからない	5.9%	1.6%	1.9%	2.4%	3.2%	1.5%
その他	7.1%	14.4%	7.2%	9.1%	4.5%	1.0%
無回答	1.2%	0.8%	0.5%	1.2%	0.0%	3.0%

## 4. 高齢者に関する人権について

問 13 高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。  
次の中から3つまでお選びください。

「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が51.0%で最も高く、次いで「介護制度が十分でないこと」が40.0%、「情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと」が37.7%と続いている。

前回調査と比較すると、「情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと」が8.1ポイント増加、「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が7.6ポイント増加、「働ける能力を発揮する機会がないこと」が5.5ポイント減少している。



## 【年齢別】

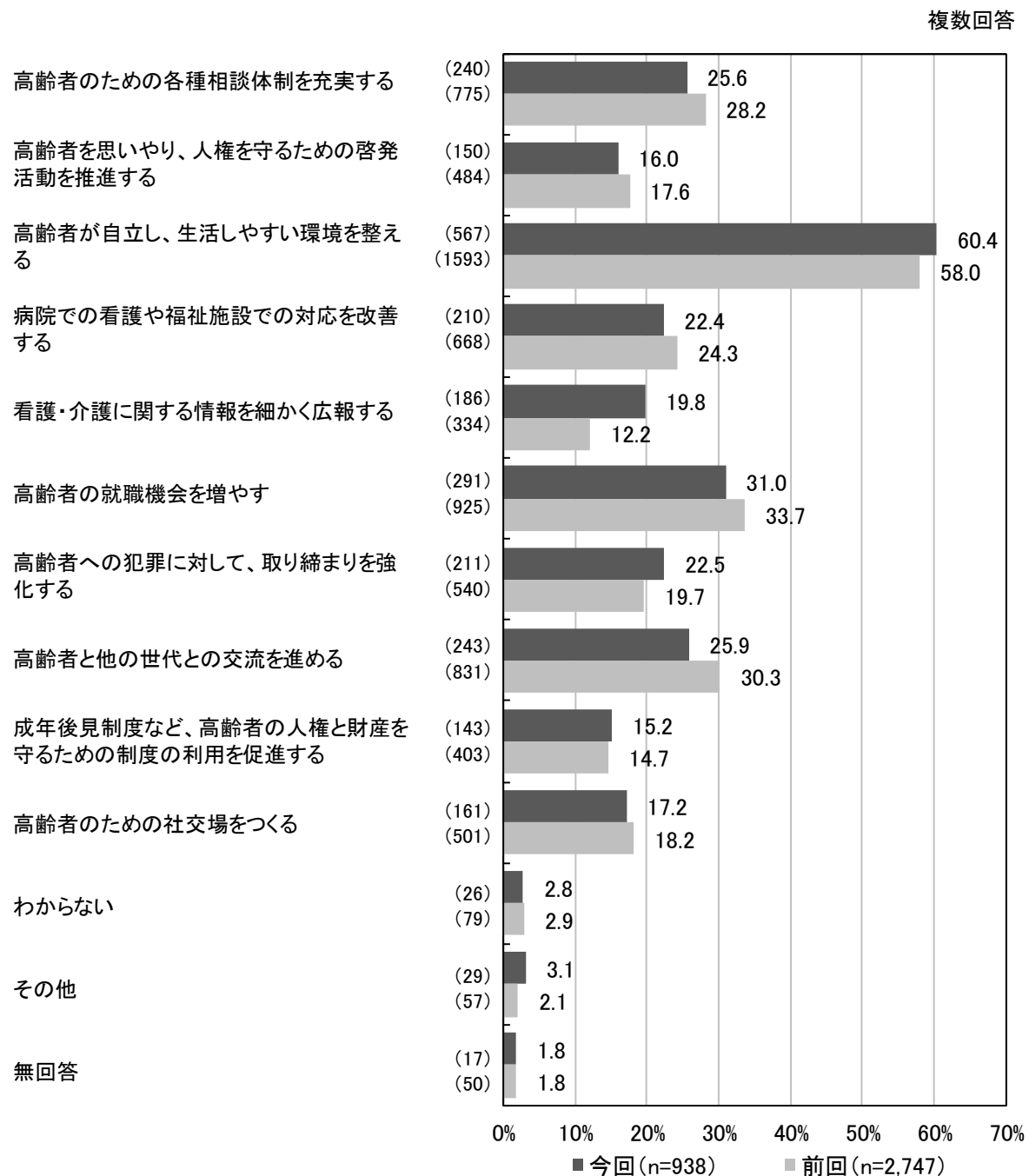
年齢別で見ると、18～29歳で「介護制度が十分でないこと」、30歳以上で「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」がそれぞれ最も高くなっている。また、70歳以上で「高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと」が27.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
働ける能力を発揮する機会がないこと	36.5%	34.4%	40.6%	38.8%	40.0%	32.5%
悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと	47.1%	52.0%	53.6%	46.7%	49.7%	53.5%
病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと	23.5%	24.8%	20.8%	22.4%	25.8%	17.5%
高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと	14.1%	20.0%	15.0%	18.8%	18.7%	27.5%
介護制度が十分でないこと	48.2%	35.2%	45.4%	41.2%	43.9%	29.5%
情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと	38.8%	37.6%	36.2%	38.2%	34.8%	41.0%
家族が高齢者の世話を避けること	17.6%	13.6%	13.0%	11.5%	11.6%	17.0%
道路の段差解消、エレベーターの設置その他の高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと	31.8%	24.0%	30.9%	32.7%	33.5%	34.5%
わからない	2.4%	3.2%	1.9%	4.2%	5.2%	5.5%
その他	1.2%	4.0%	3.4%	4.2%	1.9%	1.5%
無回答	1.2%	0.8%	1.0%	0.6%	0.6%	2.0%

**問 14 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える」が60.4%で最も高く、次いで「高齢者の就職機会を増やす」が31.0%、「高齢者和其他の世代との交流を進める」が25.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「看護・介護に関する情報を細かく広報する」が7.6ポイント増加している。



※「高齢者のための各種相談体制を充実する」の選択肢は、前回は「高齢者のための各種相談機能を充実する」となっている。また、「看護・介護に関する情報を細かく広報する」の選択肢は、前回は「看護に関する情報を細かく広報する」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える」が最も高くなっている。また、70歳以上で「高齢者のための各種相談体制を充実する」が32.5%と他の年代に比べて高くなっている。

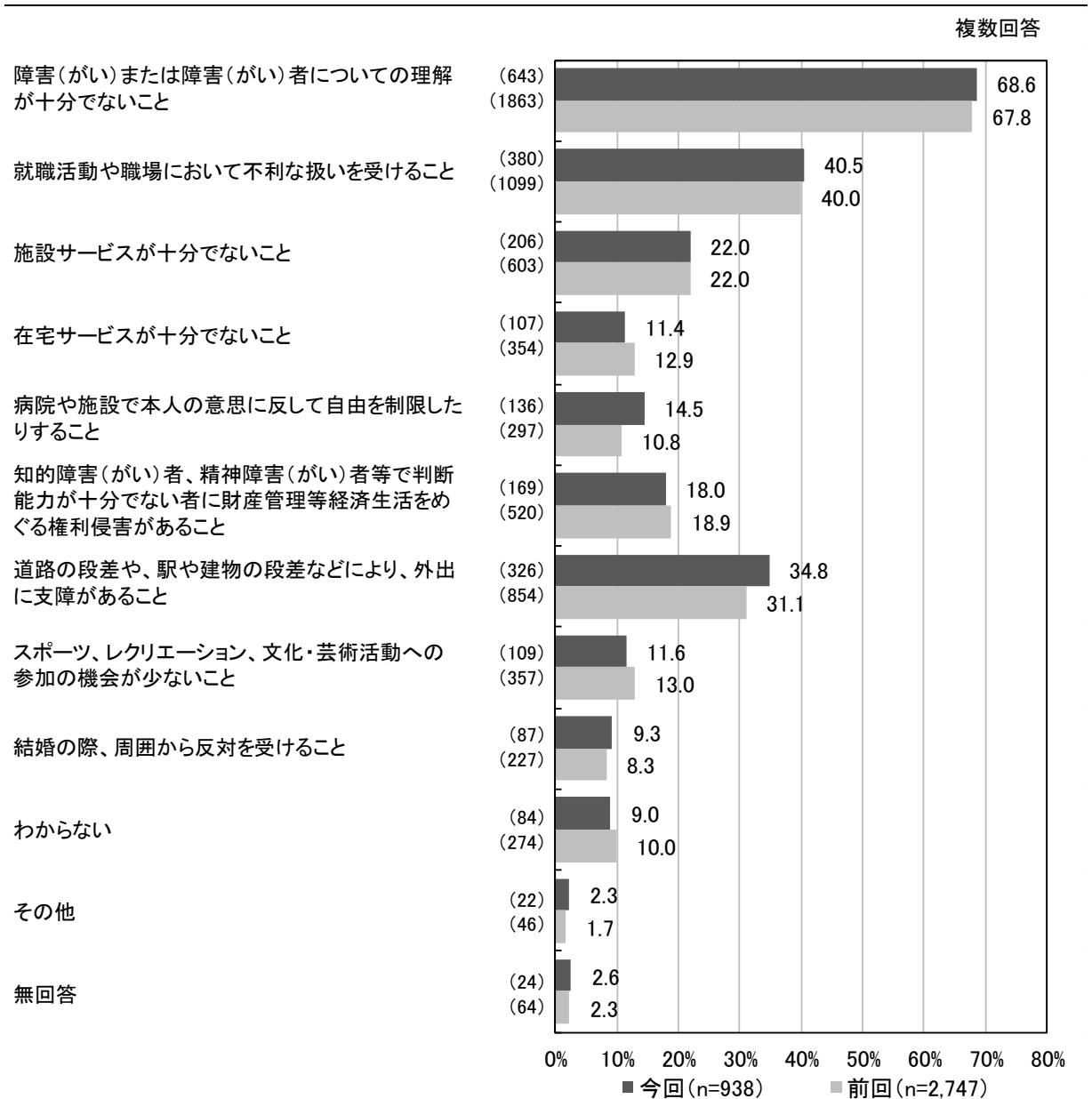
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
高齢者のための各種相談体制を充実する	18.8%	22.4%	25.1%	22.4%	27.1%	32.5%
高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する	11.8%	10.4%	13.0%	13.9%	22.6%	20.5%
高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える	48.2%	55.2%	59.9%	63.0%	64.5%	64.0%
病院での看護や福祉施設での対応を改善する	29.4%	24.0%	22.2%	20.6%	27.1%	16.5%
看護・介護に関する情報を細かく広報する	22.4%	15.2%	17.9%	18.2%	21.9%	23.5%
高齢者の就職機会を増やす	30.6%	33.6%	38.2%	33.9%	28.4%	22.0%
高齢者への犯罪に対して、取り締まりを強化する	21.2%	23.2%	28.5%	16.4%	18.1%	25.0%
高齢者和其他の世代との交流を進める	23.5%	29.6%	29.0%	33.3%	21.9%	18.5%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	14.1%	11.2%	14.5%	20.0%	17.4%	13.0%
高齢者のための社交場をつくる	25.9%	20.0%	15.9%	17.6%	11.0%	17.5%
わからない	3.5%	1.6%	1.0%	1.8%	3.9%	5.0%
その他	4.7%	4.8%	3.9%	2.4%	2.6%	1.5%
無回答	1.2%	0.8%	0.5%	0.6%	2.6%	4.5%

## 5. 障害（がい）者に関する人権について

問 15 障害（がい）者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと」が68.6%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40.5%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」が34.8%と続いている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。





## 【年齢別】

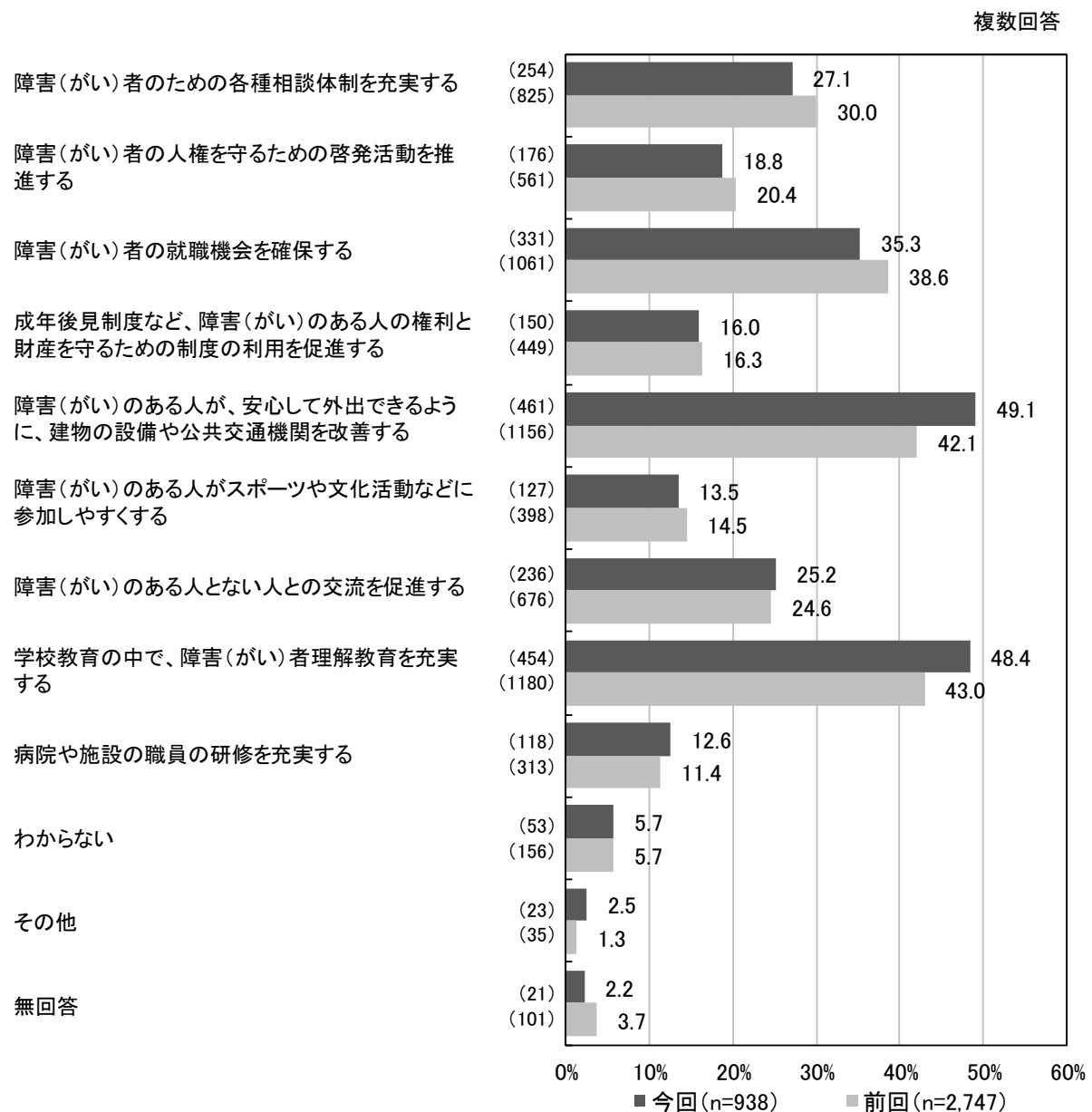
年齢別で見ると、すべての年代で「障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと」が最も高く、特に18～29歳と40～49歳で70%台となっている。また、18～49歳で「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40%台と高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと	76.5%	65.6%	74.4%	69.1%	68.4%	60.5%
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	49.4%	46.4%	43.5%	34.5%	38.7%	36.5%
施設サービスが十分でないこと	15.3%	20.0%	19.8%	20.6%	29.7%	23.0%
在宅サービスが十分でないこと	9.4%	11.2%	9.7%	12.1%	16.1%	10.0%
病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること	14.1%	16.8%	12.6%	13.3%	12.9%	17.5%
知的障害（がい）者、精神障害（がい）者等で判断能力が十分でない者に財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること	16.5%	15.2%	21.7%	16.4%	19.4%	16.5%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること	29.4%	31.2%	38.6%	34.5%	34.2%	36.0%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと	16.5%	12.0%	9.7%	9.7%	7.7%	16.0%
結婚の際、周囲から反対を受けること	16.5%	12.8%	8.2%	9.1%	7.1%	7.0%
わからない	4.7%	5.6%	7.2%	9.7%	11.0%	12.5%
その他	1.2%	3.2%	1.9%	4.8%	1.3%	1.5%
無回答	1.2%	0.8%	1.0%	1.8%	2.6%	6.5%

**問 16 あなたは、障害(がい)者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いま  
すか。次の中から3つまでお選びください。**

「障害(がい)のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が49.1%で最も高く、次いで「学校教育の中で、障害(がい)者理解教育を充実する」が48.4%、「障害(がい)者の就職機会を確保する」が35.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「障害(がい)のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が7.0ポイント増加、「学校教育の中で、障害(がい)者理解教育を充実する」が5.4ポイント増加している。



※「障害(がい)者のための各種相談体制を充実する」の選択肢は、前回は「障害(がい)者のための各種相談機能を充実する」となっている。また、「看護・介護に関する情報を細かく広報する」の選択肢は、前回は「看護に関する情報を細かく広報する」となっている。

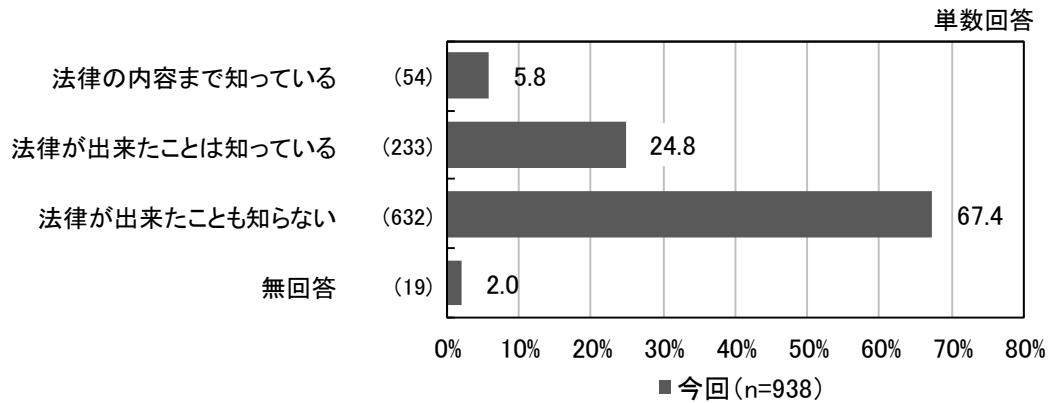
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～39歳で「学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する」、50歳以上で「障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」がそれぞれ最も高くなっている。40～49歳では「障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」と「学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する」が共に最も高くなっている。また、18～29歳で「障害（がい）者の就職機会を確保する」が44.7%、70歳以上で「障害（がい）者のための各種相談体制を充実する」が36.0%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
障害（がい）者のための各種相談体制を充実する	17.6%	21.6%	25.1%	26.1%	28.4%	36.0%
障害（がい）者の人権を守るための啓発活動を推進する	10.6%	20.0%	15.5%	18.8%	21.9%	22.0%
障害（がい）者の就職機会を確保する	44.7%	35.2%	33.3%	33.9%	38.7%	32.0%
成年後見制度など、障害（がい）のある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	11.8%	16.8%	19.8%	16.4%	16.1%	13.0%
障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	36.5%	47.2%	50.2%	50.3%	52.9%	50.5%
障害（がい）のある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	15.3%	12.0%	13.5%	11.5%	10.3%	18.0%
障害（がい）のある人とないない人との交流を促進する	28.2%	31.2%	32.9%	23.0%	21.9%	16.5%
学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する	55.3%	53.6%	50.2%	44.8%	46.5%	45.0%
病院や施設の職員の研修を充実する	16.5%	7.2%	14.0%	9.7%	12.9%	15.0%
わからない	7.1%	4.0%	4.8%	5.5%	7.1%	6.0%
その他	3.5%	4.0%	1.9%	4.2%	1.3%	1.0%
無回答	1.2%	0.0%	1.0%	1.8%	1.9%	6.0%

**問 17 平成28年4月に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。**

「法律が出来たことも知らない」が67.4%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が24.8%、「法律の内容まで知っている」が5.8%と続いている。



**【年齢別】**

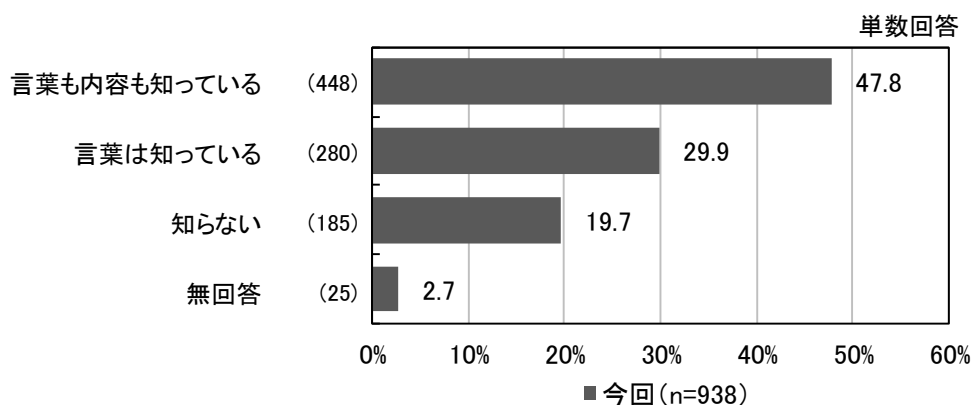
年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことも知らない」が最も高く、特に18～49歳では70%台と高くなっている。また、30～39歳で「法律の内容まで知っている」が10.4%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
法律の内容まで知っている	7.1%	10.4%	7.2%	4.8%	6.5%	1.0%
法律が出来たことは知っている	17.6%	13.6%	18.8%	24.8%	27.7%	39.0%
法律が出来たことも知らない	74.1%	76.0%	73.4%	69.1%	63.9%	54.0%
無回答	1.2%	0.0%	0.5%	1.2%	1.9%	6.0%

## 6. 同和問題について

問 18 あなたは、同和問題について知っていますか。次の中から1つお選びください。

「言葉も内容も知っている」が47.8%で最も高く、次いで「言葉は知っている」が29.9%、「知らない」が19.7%と続いている。



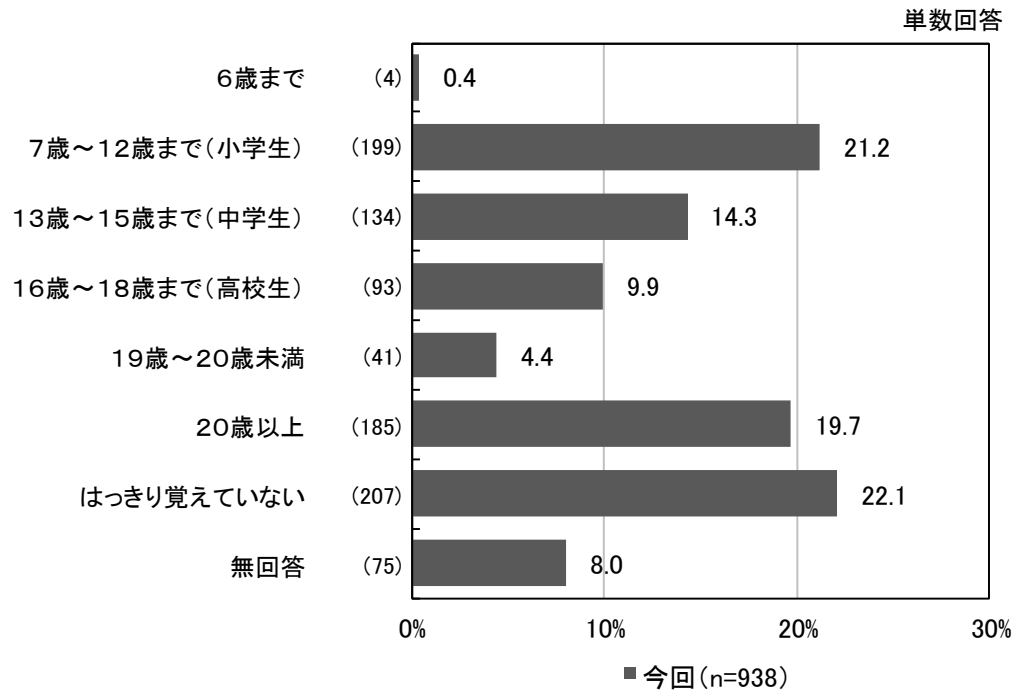
### 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「知らない」、30歳以上で「言葉も内容も知っている」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～29歳で「言葉も内容も知っている」は約30%に留まっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
言葉も内容も知っている	29.4%	46.4%	43.5%	56.4%	53.5%	49.0%
言葉は知っている	21.2%	24.8%	35.7%	25.5%	29.7%	34.5%
知らない	48.2%	27.2%	20.3%	15.8%	15.5%	9.0%
無回答	1.2%	1.6%	0.5%	2.4%	1.3%	7.5%

問 19 あなたが同和問題について初めて知ったのは、いつ頃ですか。次の中から1つお選びください。

「はっきり覚えていない」が22.1%で最も高く、次いで「7歳～12歳まで（小学生）」が21.2%、「20歳以上」が19.7%と続いている。



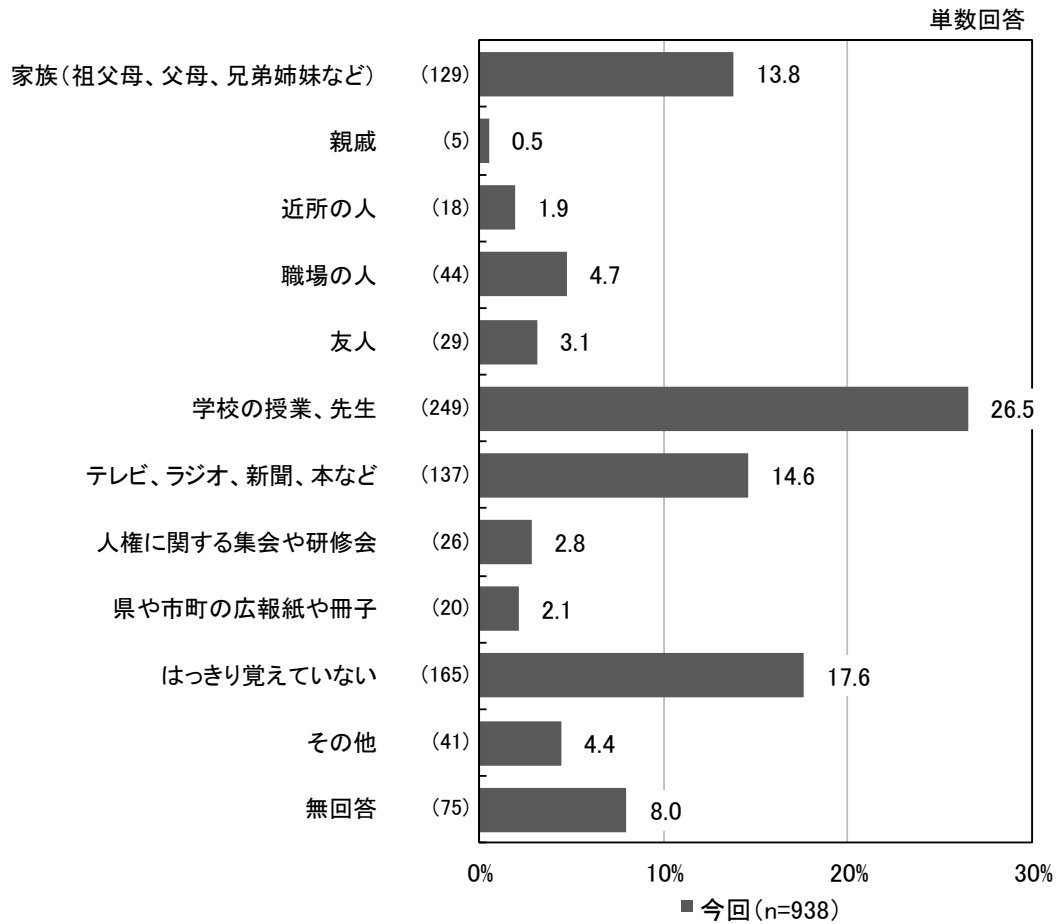
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「はっきり覚えていない」、30～59歳で「7歳～12歳まで（小学生）」、60～69歳で「13歳～15歳まで（中学生）」と「20歳以上」、70歳以上で「20歳以上」がそれぞれ最も高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
6歳まで	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	0.0%	1.0%
7歳～12歳まで（小学生）	7.1%	30.4%	35.3%	28.5%	11.6%	8.5%
13歳～15歳まで（中学生）	11.8%	8.8%	12.6%	18.2%	20.6%	12.5%
16歳～18歳まで（高校生）	8.2%	5.6%	4.8%	7.3%	17.4%	15.0%
19歳～20歳未満	5.9%	1.6%	1.9%	4.2%	7.1%	6.0%
20歳以上	16.5%	23.2%	15.0%	17.6%	20.6%	24.5%
はっきり覚えていない	38.8%	20.8%	22.7%	17.6%	18.1%	22.0%
無回答	11.8%	9.6%	7.2%	6.1%	4.5%	10.5%

問 20 あなたが同和問題について初めて知ったのは、誰(なに)からですか。次の中から1つお選びください。

「学校の授業、先生」が26.5%で最も高く、次いで「はっきり覚えていない」が17.6%、「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が14.6%と続いている。





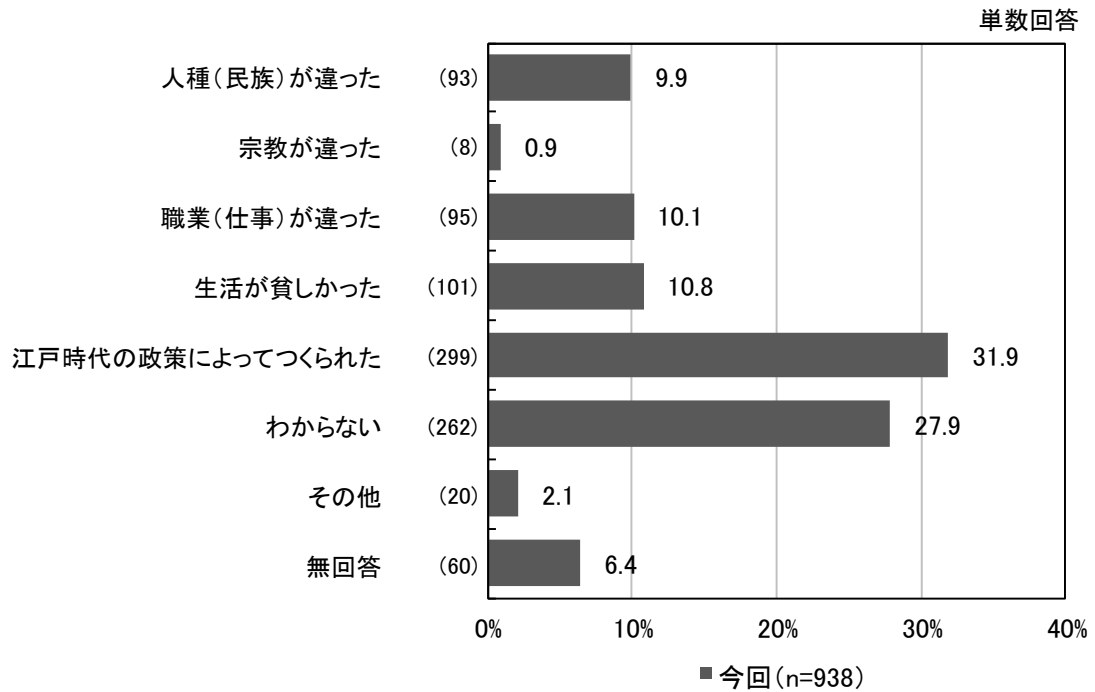
## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳で「はっきり覚えていない」、30～69歳で「学校の授業、先生」、70歳以上で「テレビ、ラジオ、新聞、本など」がそれぞれ最も高くなっている。また、60～69歳で「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）」が21.3%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）	11.8%	3.2%	11.1%	17.6%	21.3%	15.0%
親戚	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.3%	1.0%
近所の人	0.0%	0.0%	1.0%	0.6%	3.9%	4.5%
職場の人	0.0%	3.2%	2.4%	7.9%	4.5%	7.5%
友人	0.0%	0.8%	1.4%	4.2%	3.9%	6.0%
学校の授業、先生	21.2%	38.4%	40.6%	32.1%	21.9%	6.0%
テレビ、ラジオ、新聞、本など	9.4%	11.2%	11.6%	12.1%	14.2%	24.5%
人権に関する集会や研修会	2.4%	1.6%	0.5%	0.6%	5.2%	5.5%
県や市町の広報紙や冊子	3.5%	1.6%	0.5%	1.8%	1.9%	4.0%
はっきり覚えていない	30.6%	21.6%	17.9%	13.3%	14.2%	15.5%
その他	8.2%	8.8%	5.3%	3.0%	3.2%	1.0%
無回答	12.9%	9.6%	7.7%	6.1%	4.5%	9.5%

問 21 あなたは同和問題の起こりについて、どのように受けとめていますか。次の中から1つお選びください。

「江戸時代の政策によってつくられた」が 31.9%で最も高く、次いで「わからない」が 27.9%、「生活が貧しかった」が 10.8%と続いている。



## 【年齢別】

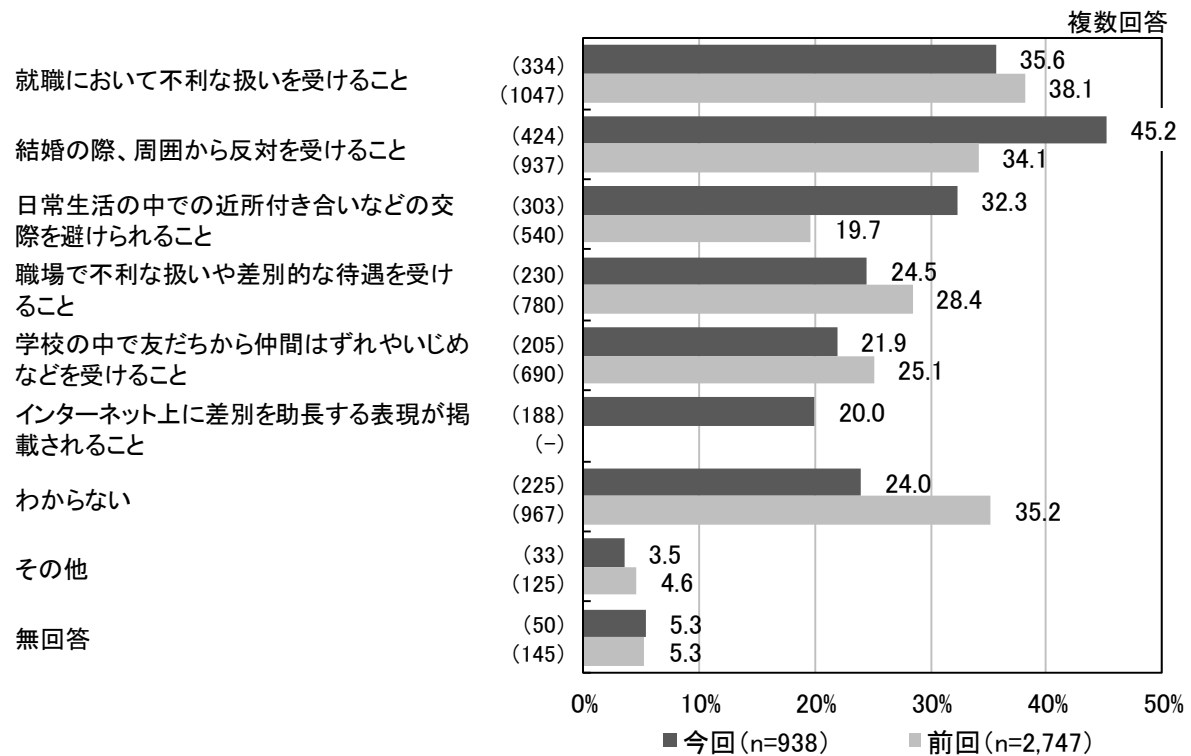
年齢別で見ると、18～49歳で「わからない」、50歳以上で「江戸時代の政策によってつくられた」がそれぞれ最も高くなっている。特に、18～29歳で「わからない」が43.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
人種（民族）が違った	12.9%	10.4%	8.2%	7.3%	8.4%	13.5%
宗教が違った	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.9%	1.0%
職業（仕事）が違った	7.1%	4.8%	8.7%	6.1%	12.9%	17.5%
生活が貧しかった	7.1%	12.8%	13.0%	12.7%	14.2%	4.5%
江戸時代の政策によってつくられた	17.6%	28.0%	29.5%	43.0%	31.6%	33.5%
わからない	43.5%	35.2%	30.9%	24.2%	24.5%	19.5%
その他	2.4%	1.6%	2.9%	1.8%	2.6%	1.5%
無回答	9.4%	7.2%	5.3%	4.8%	3.9%	9.0%

**問 22 同和問題に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。**

「結婚の際、周囲から反対を受けること」が45.2%で最も高く、次いで「就職において不利な扱いを受けること」が35.6%、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が32.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が12.6ポイント増加、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が11.1ポイント増加、「わからない」が11.2ポイント減少している。



※「インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること」という選択肢は、今回から追加されたものである。

※「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」の選択肢は、前回は「日常生活の中で交際を避けられること」となっている。

## 【年齢別】

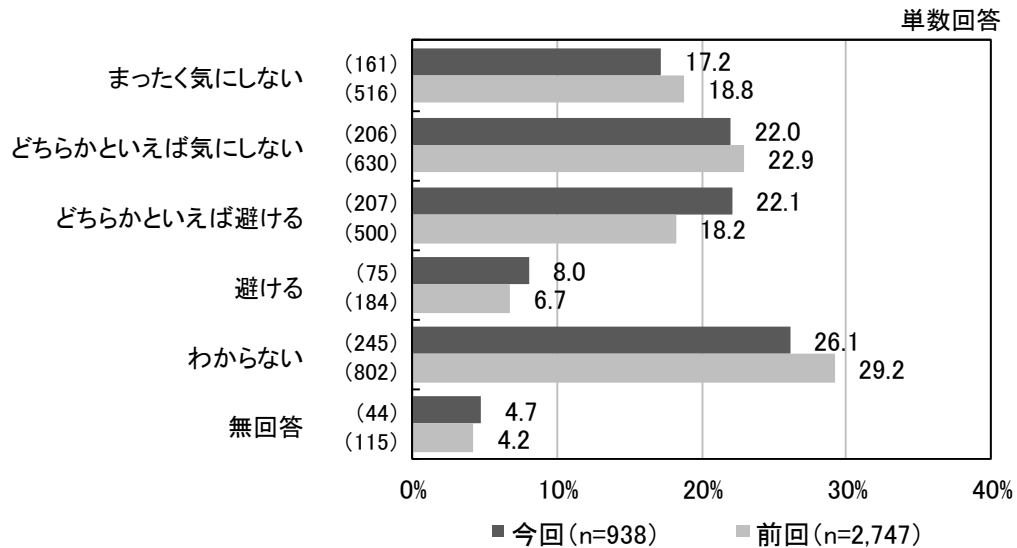
年齢別で見ると、18～29歳で「わからない」、30歳以上で「結婚の際、周囲から反対を受けること」がそれぞれ最も高くなっている。また、40～59歳で「インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること」が20%台、70歳以上で「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」が30%台後半と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
就職において不利な扱いを受けること	29.4%	37.6%	36.7%	32.7%	39.4%	35.0%
結婚の際、周囲から反対を受けること	30.6%	41.6%	44.9%	41.8%	52.3%	51.5%
日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること	22.4%	32.0%	32.4%	32.1%	31.0%	37.5%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	31.8%	25.6%	27.1%	24.2%	18.7%	22.5%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	14.1%	26.4%	25.6%	23.0%	16.8%	21.5%
インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること	18.8%	17.6%	25.6%	23.6%	17.4%	15.5%
わからない	36.5%	20.0%	23.7%	23.6%	26.5%	20.0%
その他	0.0%	2.4%	4.3%	5.5%	4.5%	2.5%
無回答	7.1%	6.4%	2.9%	3.6%	1.9%	10.5%

**問 23 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。次の中から1つお選びください。**

「わからない」が26.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば避ける」が22.1%、「どちらかといえば気にしない」が22.0%と続いている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



**【年齢別】**

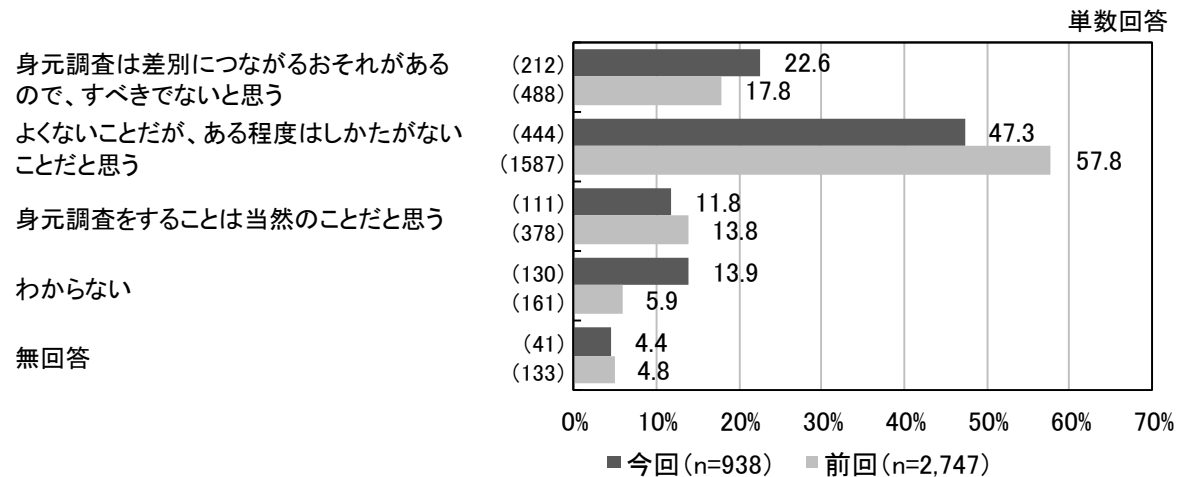
年齢別で見ると、18～29歳で「わからない」が45.9%、30～39歳で「まったく気にしない」が26.4%と他の年代に比べて高くなっている。その他の年代では、年代によって回答にばらつきが見られる。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
まったく気にしない	12.9%	26.4%	16.9%	15.2%	16.8%	15.5%
どちらかといえば気にしない	21.2%	14.4%	19.3%	20.0%	25.2%	28.5%
どちらかといえば避ける	10.6%	18.4%	25.1%	26.7%	22.6%	22.0%
避ける	3.5%	10.4%	11.6%	8.5%	6.5%	5.5%
わからない	45.9%	24.8%	23.7%	26.1%	27.7%	20.0%
無回答	5.9%	5.6%	3.4%	3.6%	1.3%	8.5%

**問 24 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。**

「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が47.3%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が22.6%、「わからない」が13.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「わからない」が8.0ポイント増加、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が10.5ポイント減少している。



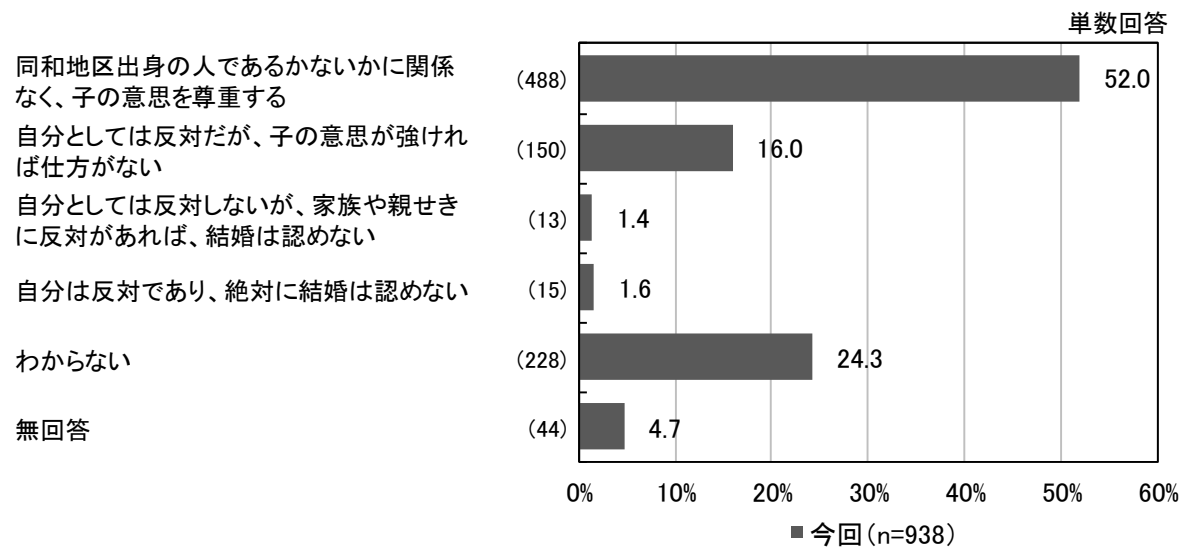
**【年齢別】**

年齢別で見ると、すべての年代で「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が最も高く、特に18～29歳と50～59歳で50%台と高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	15.3%	22.4%	28.5%	16.4%	26.5%	22.0%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	50.6%	45.6%	45.4%	54.5%	47.1%	43.0%
身元調査をすることは当然のことだと思う	11.8%	11.2%	9.7%	12.1%	10.3%	15.5%
わからない	17.6%	14.4%	13.0%	14.5%	14.8%	11.5%
無回答	4.7%	6.4%	3.4%	2.4%	1.3%	8.0%

**問 25 あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。次の中から1つお選びください。**

「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が52.0%で最も高く、次いで「わからない」が24.3%、「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が16.0%と続いている。



**【年齢別】**

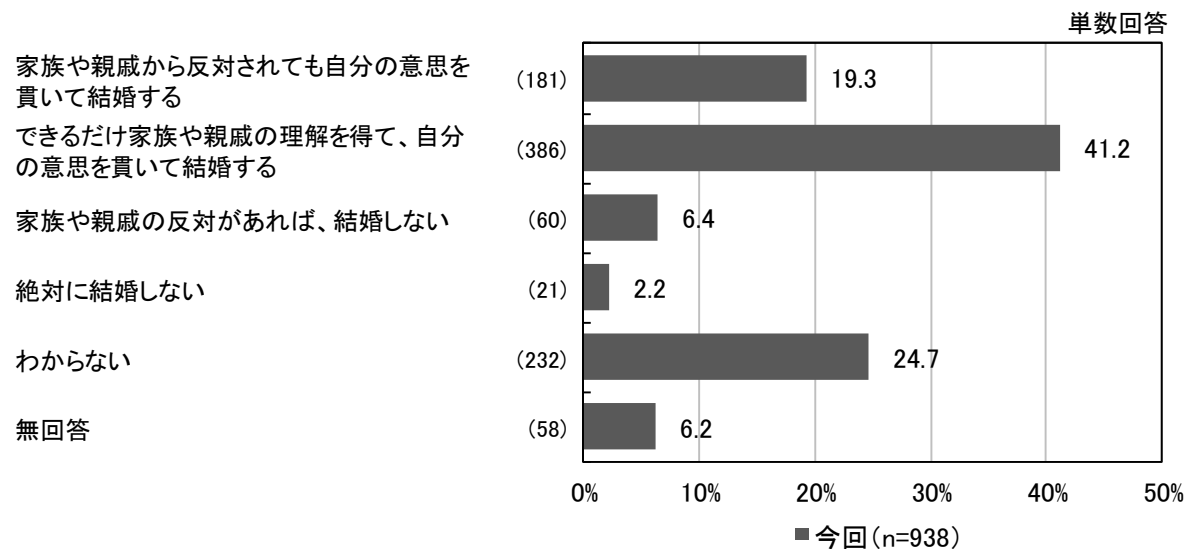
年齢別で見ると、すべての年代で「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が最も高くなっている。また、70歳以上で「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が24.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する	47.1%	59.2%	53.6%	46.1%	56.8%	49.0%
自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない	7.1%	13.6%	15.0%	14.5%	14.8%	24.5%
自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない	0.0%	0.8%	1.9%	2.4%	1.9%	0.5%
自分は反対であり、絶対に結婚は認めない	1.2%	0.8%	2.4%	1.8%	1.9%	1.0%
わからない	37.6%	20.8%	24.2%	31.5%	23.2%	16.0%
無回答	7.1%	4.8%	2.9%	3.6%	1.3%	9.0%



**問 26 あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、あなたはどのようにされますか。次の中から1つお選びください。**

「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が41.2%で最も高く、次いで「わからない」が24.7%、「家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する」が19.3%と続いている。



**【年齢別】**

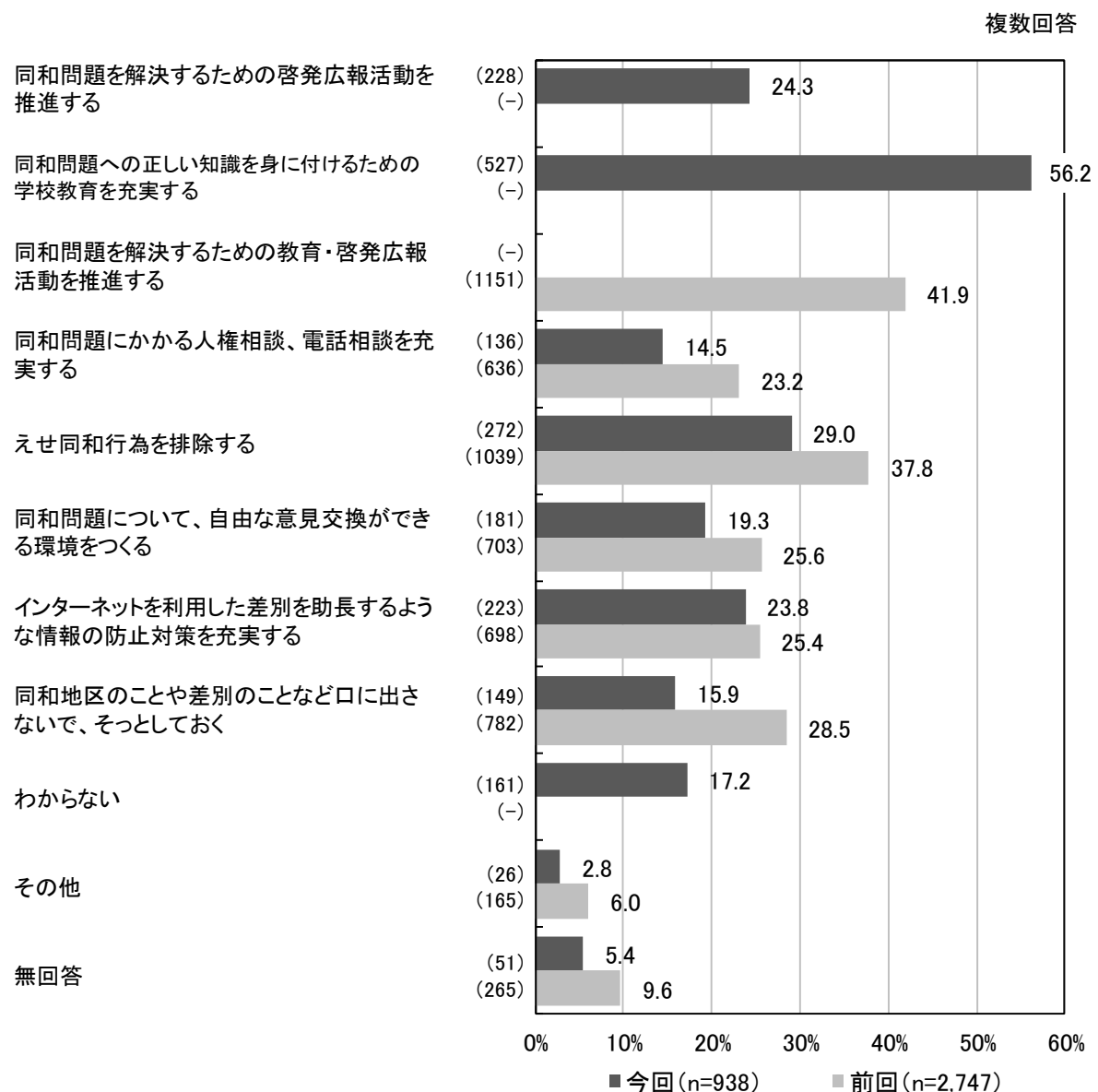
年齢別で見ると、すべての年代で「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高く、特に30～49歳で40%台と高くなっている。また、18～29歳で「わからない」が36.5%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する	15.3%	21.6%	18.8%	21.8%	23.2%	15.0%
できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する	38.8%	48.8%	46.4%	37.6%	36.8%	38.0%
家族や親戚の反対があれば、結婚しない	1.2%	1.6%	5.8%	8.5%	5.8%	11.0%
絶対に結婚しない	1.2%	1.6%	2.4%	2.4%	3.2%	2.0%
わからない	36.5%	22.4%	21.3%	25.5%	26.5%	23.0%
無回答	7.1%	4.0%	5.3%	4.2%	4.5%	11.0%

**問 27 あなたは、同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が 56.2%で最も高く、次いで「えせ同和行為を排除する」が 29.0%、「同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する」が 24.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく」が 12.6 ポイント減少、「えせ同和行為を排除する」が 8.8 ポイント減少、「同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する」が 8.7 ポイント減少、「同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」が 6.3 ポイント減少している。



※「同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する」と「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」の選択肢は、前回は「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」となっているため、今回は別々に掲載している。

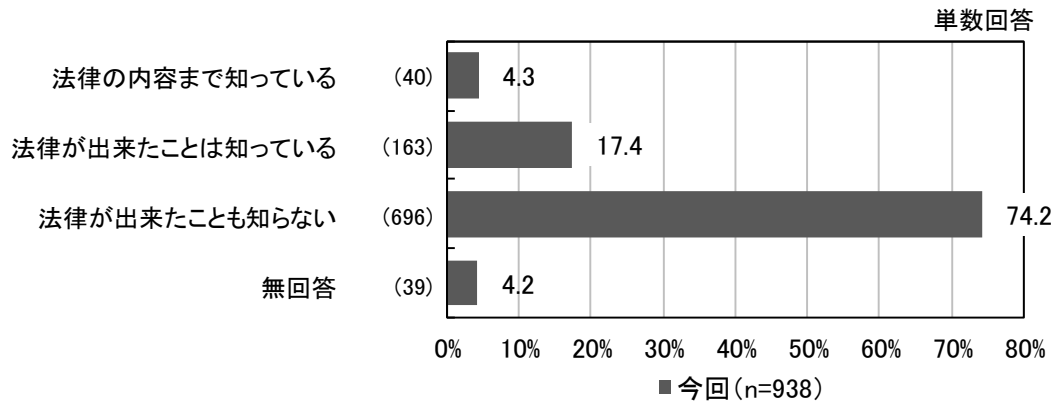
## 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が最も高く、特に40～49歳で61.8%と高くなっている。また、40～69歳で「えせ同和行為を排除する」が30%台、50～59歳で「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が30%台、18～29歳で「わからない」が30%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する	15.3%	21.6%	23.2%	23.6%	25.8%	30.0%
同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する	51.8%	58.4%	61.8%	56.4%	55.5%	51.0%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	14.1%	16.0%	14.5%	11.5%	17.4%	14.0%
えせ同和行為を排除する	18.8%	22.4%	31.4%	39.4%	32.3%	24.0%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	10.6%	12.0%	16.4%	12.1%	22.6%	33.5%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	16.5%	20.8%	24.2%	30.3%	28.4%	19.5%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく	11.8%	13.6%	14.0%	11.5%	19.4%	22.0%
わからない	32.9%	18.4%	14.5%	15.8%	15.5%	15.0%
その他	1.2%	4.0%	4.8%	2.4%	0.6%	2.5%
無回答	7.1%	4.8%	4.3%	3.6%	3.2%	9.5%

問 28 平成28年12月に、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことも知らない」が74.2%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が17.4%、「法律の内容まで知っている」が4.3%と続いている。



**【年齢別】**

年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことも知らない」が最も高く、特に30～59歳で80%台と高くなっている。

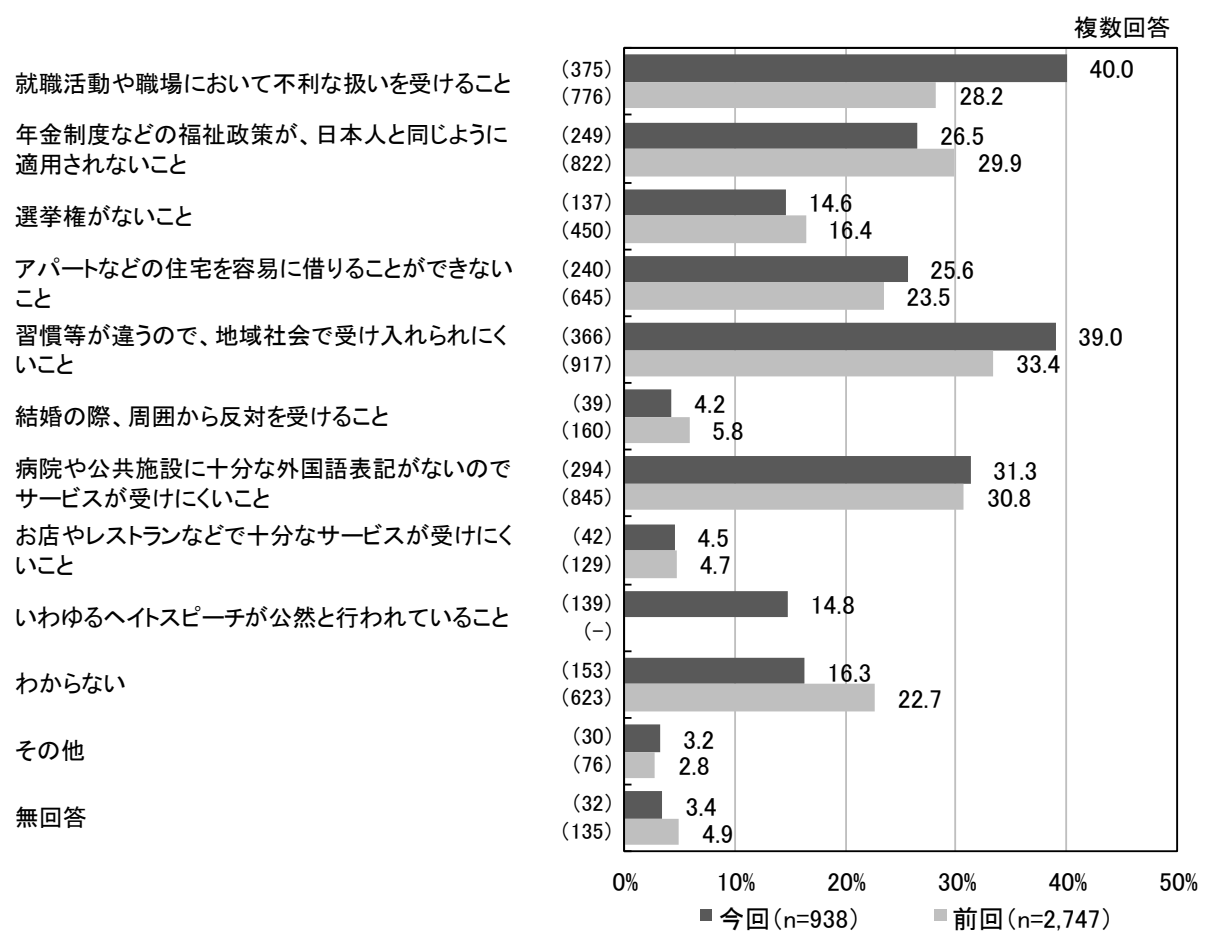
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
法律の内容まで知っている	2.4%	5.6%	4.3%	4.2%	5.8%	3.0%
法律が出来たことは知っている	22.4%	6.4%	9.2%	10.9%	23.2%	31.5%
法律が出来たことも知らない	74.1%	86.4%	82.6%	81.8%	67.7%	56.5%
無回答	1.2%	1.6%	3.9%	3.0%	3.2%	9.0%

## 7. 外国人に関する人権について

問 29 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40.0%で最も高く、次いで「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が39.0%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと」が31.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が11.8ポイント増加、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が5.6ポイント増加、「わからない」が6.4ポイント減少している。



※「いわゆるヘイトスピーチが公然と行われていること」という選択肢は、今回から追加されたものである。

※「年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと」の選択肢は、前は「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと」となっている。

## 【年齢別】

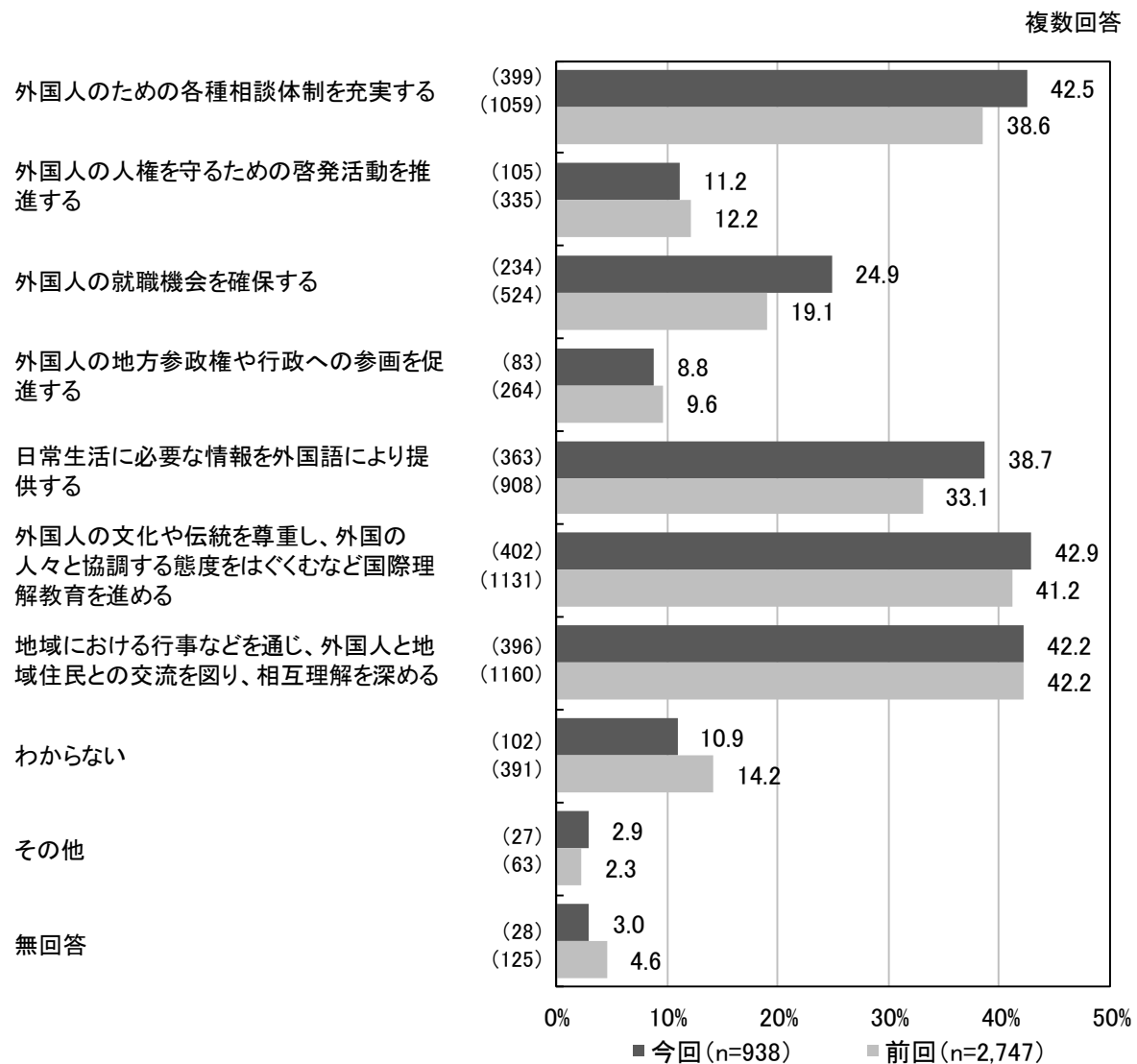
年齢別で見ると、18～39歳と50～59歳で「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」、40～49歳と60歳以上で「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～29歳で「選挙権がないこと」が24.7%、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が10.6%と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	40.0%	38.4%	37.2%	46.7%	41.9%	36.5%
年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと	34.1%	28.8%	22.7%	25.5%	22.6%	30.0%
選挙権がないこと	24.7%	16.8%	15.0%	11.5%	11.0%	14.0%
アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと	28.2%	26.4%	29.5%	24.2%	25.2%	21.5%
習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと	34.1%	29.6%	39.1%	42.4%	44.5%	39.5%
結婚の際、周囲から反対を受けること	10.6%	2.4%	2.4%	3.0%	1.3%	7.5%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと	28.2%	36.8%	33.3%	26.1%	29.7%	32.5%
お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと	11.8%	9.6%	4.3%	2.4%	3.2%	1.0%
いわゆるヘイトスピーチが公然と行われていること	14.1%	16.8%	16.4%	13.9%	15.5%	12.5%
わからない	14.1%	9.6%	15.5%	15.2%	21.9%	19.0%
その他	2.4%	4.8%	2.9%	2.4%	4.5%	2.5%
無回答	0.0%	0.8%	3.4%	0.6%	3.2%	9.0%

**問 30 あなたは、日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める」が42.9%で最も高く、次いで「外国人のための各種相談体制を充実する」が42.5%、「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が42.2%と続いている。

前回調査と比較すると、「外国人の就職機会を確保する」が5.8ポイント増加、「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が5.6ポイント増加している。



※「外国人のための各種相談体制を充実する」の選択肢は、前は「外国人のための各種相談機能を充実する」となっている。

## 【年齢別】

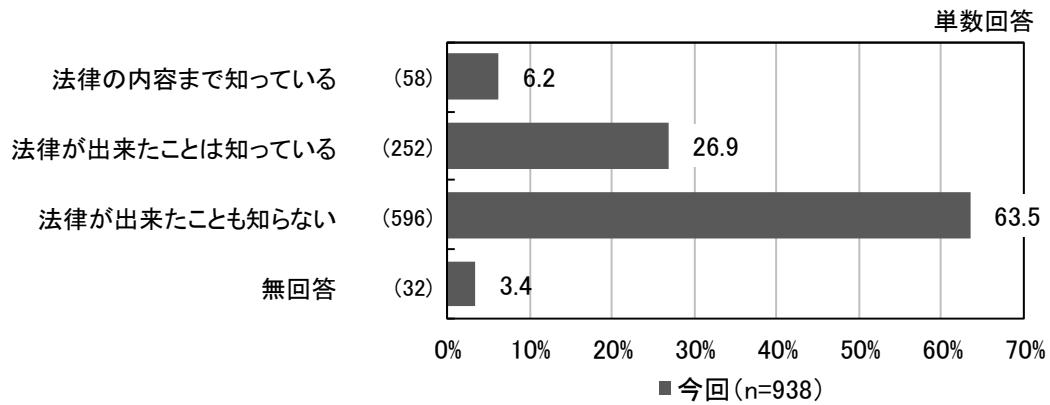
年齢別で見ると、18～29歳で「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める」、30～39歳で「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」、40～49歳で「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」、50歳以上で「外国人のための各種相談体制を充実する」がそれぞれ最も高くなっている。また、18～39歳で「外国人の就職機会を確保する」が30%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
外国人のための各種相談体制を充実する	36.5%	32.8%	38.2%	46.7%	49.0%	47.0%
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	9.4%	10.4%	11.6%	9.7%	13.5%	11.5%
外国人の就職機会を確保する	36.5%	31.2%	24.6%	23.6%	20.0%	21.5%
外国人の地方参政権や行政への参画を促進する	16.5%	11.2%	9.2%	7.9%	6.5%	6.5%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	40.0%	41.6%	38.6%	36.4%	41.9%	36.0%
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める	47.1%	37.6%	44.9%	41.2%	42.6%	43.5%
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	35.3%	39.2%	45.9%	38.2%	43.2%	45.5%
わからない	10.6%	10.4%	9.7%	9.1%	11.6%	13.5%
その他	1.2%	4.0%	3.4%	4.8%	3.2%	0.5%
無回答	0.0%	0.8%	2.9%	0.6%	3.2%	7.5%



問 31 平成28年6月に、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」(ヘイトスピーチ解消法)が施行されました。あなたは、この法律をご存知ですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことも知らない」が63.5%で最も高く、次いで「法律が出来たことは知っている」が26.9%、「法律の内容まで知っている」が6.2%と続いている。



**【年齢別】**

年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことも知らない」が最も高く、特に18～29歳と40～49歳で約70%と高くなっている。

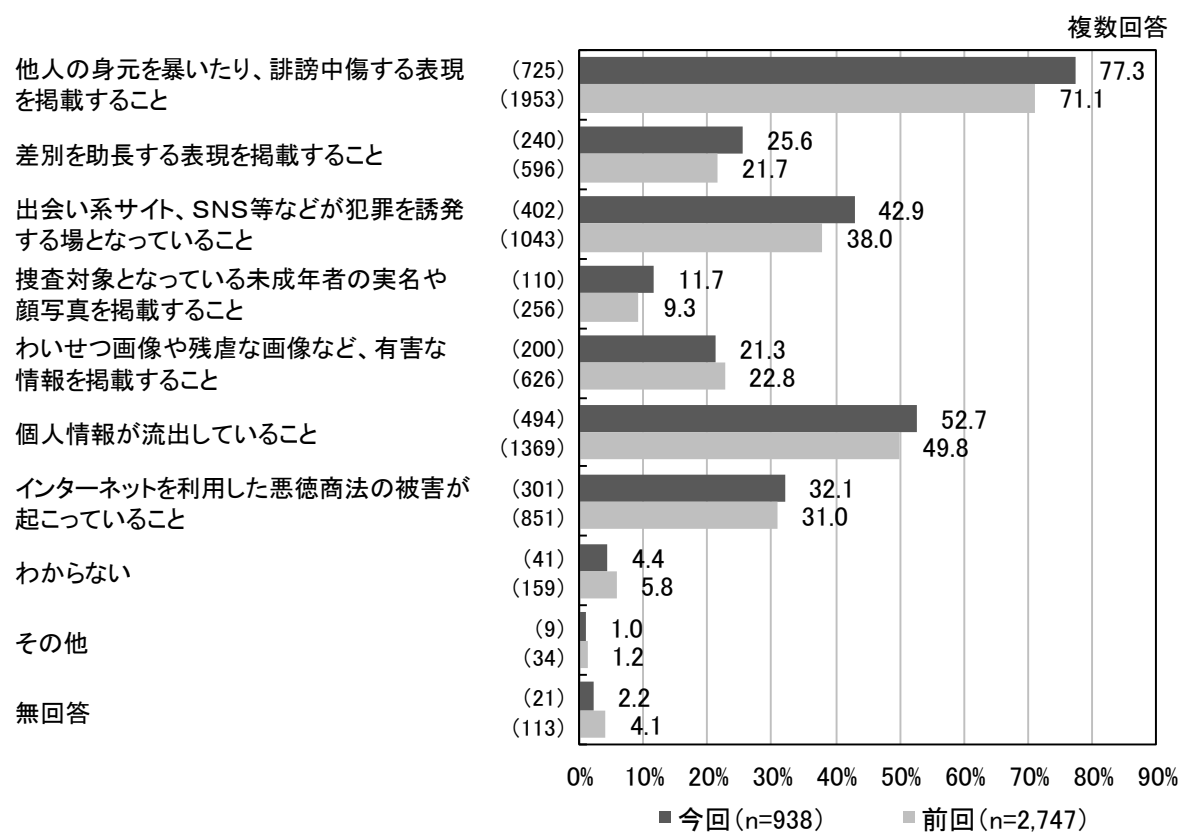
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
法律の内容まで知っている	4.7%	9.6%	5.8%	6.7%	6.5%	4.5%
法律が出来たことは知っている	25.9%	23.2%	22.2%	31.5%	27.7%	29.5%
法律が出来たことも知らない	69.4%	67.2%	69.6%	61.2%	62.6%	55.5%
無回答	0.0%	0.0%	2.4%	0.6%	3.2%	10.5%

## 8. インターネットによる人権侵害について

問 32 インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が77.3%で最も高く、次いで「個人情報が流出していること」が52.7%、「出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること」が42.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が6.2ポイント増加している。



※「出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること」の選択肢は、前回は「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」となっている。

## 【年齢別】

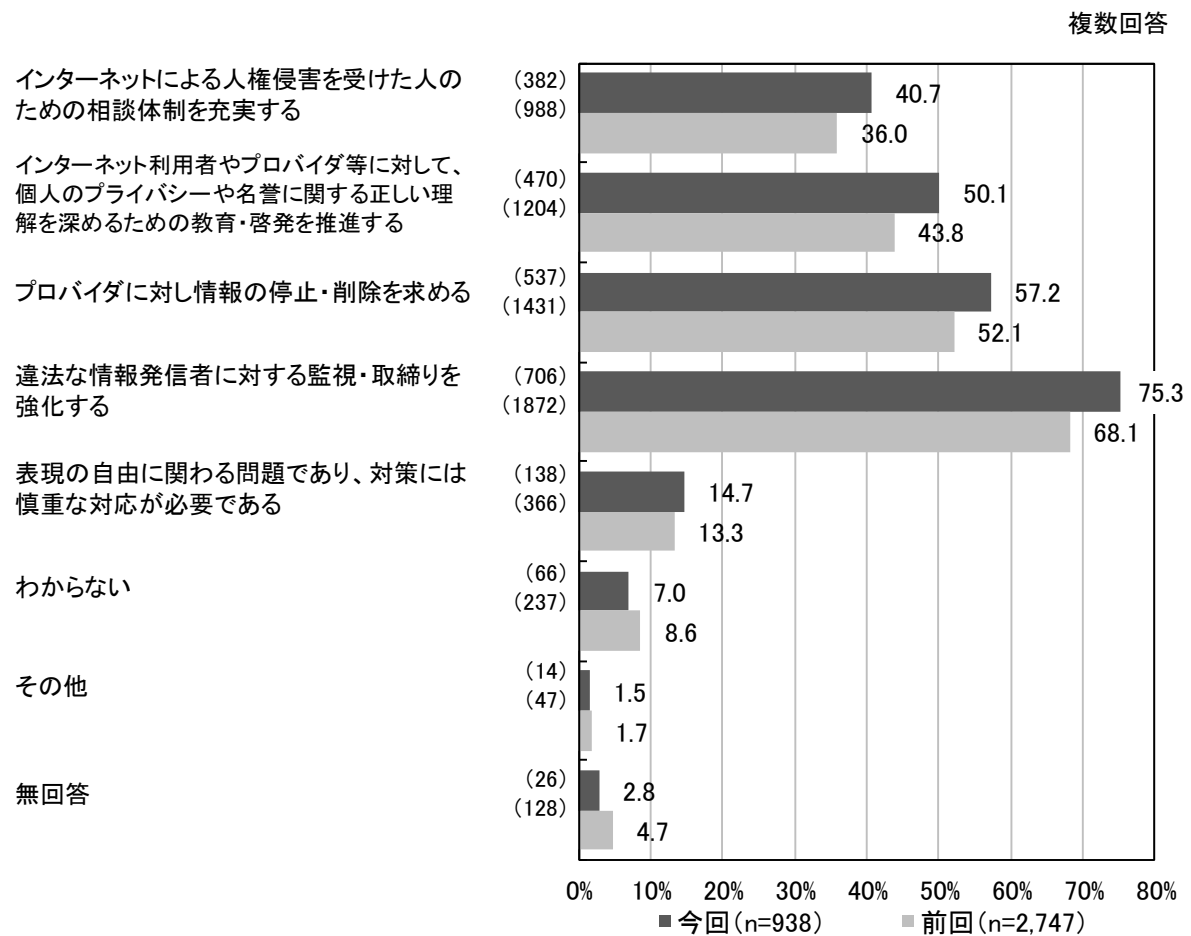
年齢別で見ると、すべての年代で「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が最も高く、特に18～29歳で87.1%と高くなっている。また、60歳以上で「出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること」が50%前後となっており、18～39歳、50～59歳で「個人情報が流出していること」が60%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること	87.1%	76.8%	82.1%	82.4%	78.7%	63.0%
差別を助長する表現を掲載すること	30.6%	29.6%	25.1%	28.5%	23.9%	20.5%
出会い系サイト、SNS等などが犯罪を誘発する場となっていること	28.2%	40.8%	41.5%	36.4%	52.3%	49.5%
捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	7.1%	13.6%	13.5%	13.3%	10.3%	10.5%
わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること	16.5%	17.6%	24.6%	21.2%	20.0%	23.5%
個人情報が流出していること	63.5%	60.8%	53.1%	60.6%	46.5%	41.0%
インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること	38.8%	25.6%	33.3%	34.5%	34.8%	27.5%
わからない	2.4%	1.6%	2.4%	1.2%	6.5%	10.0%
その他	0.0%	1.6%	1.4%	0.0%	0.6%	1.5%
無回答	0.0%	0.8%	1.0%	1.2%	1.3%	7.0%

**問 33 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。**

「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が75.3%で最も高く、次いで「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が57.2%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が50.1%と続いている。

前回調査と比較すると、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が7.2ポイント増加、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が6.3ポイント増加、「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が5.1ポイント増加している。



## 【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が最も高く、特に18～29歳で81.2%と高くなっている。また、18～29歳で「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が60%、18～39歳で「表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である」が20%台と他の年代に比べて高くなっている。

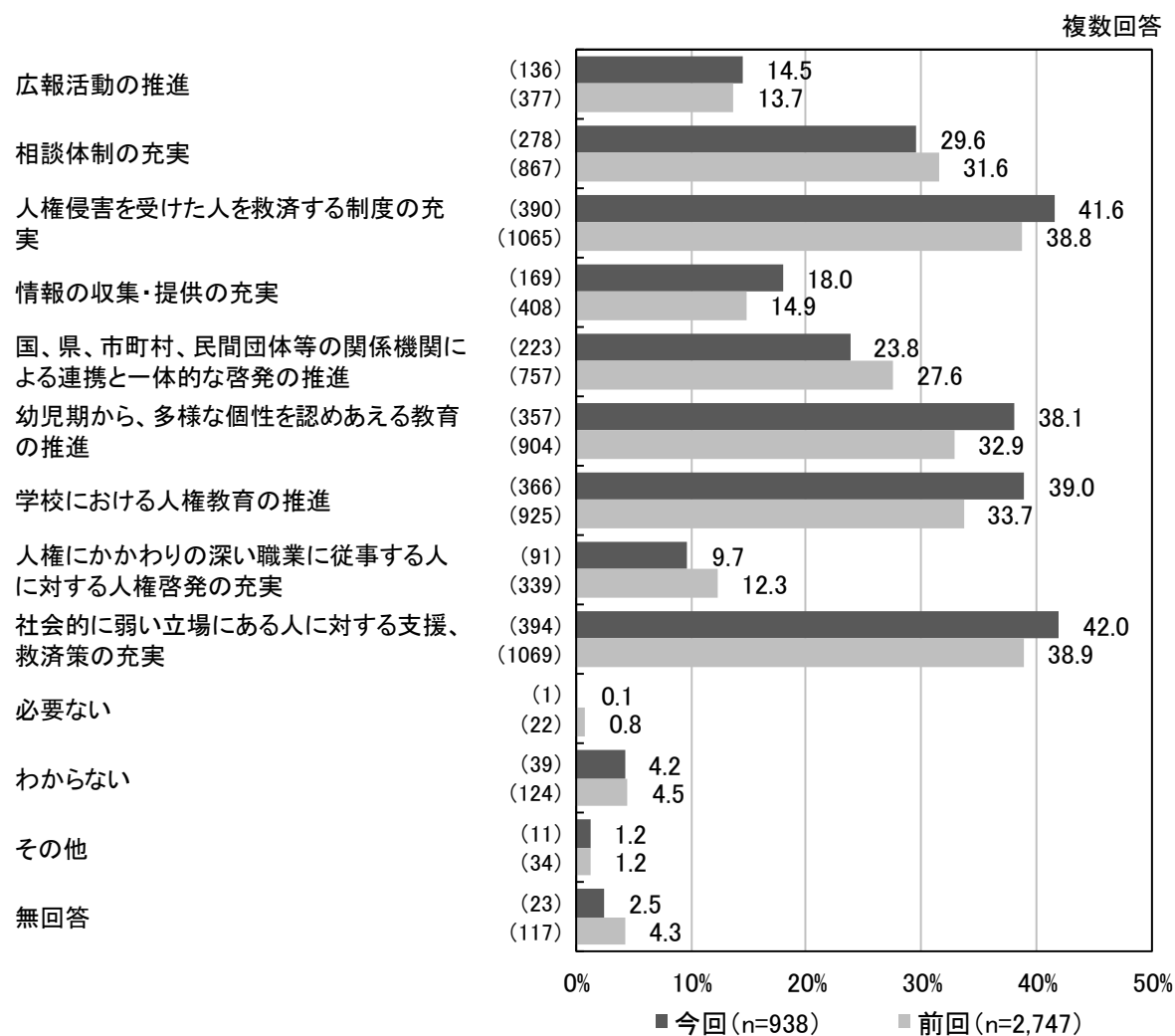
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	35.3%	32.8%	42.5%	45.5%	44.5%	39.5%
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	60.0%	54.4%	49.3%	47.3%	51.6%	45.0%
プロバイダに対し情報の停止・削除を求める	55.3%	55.2%	61.4%	64.8%	58.7%	47.5%
違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	81.2%	72.8%	76.8%	78.8%	75.5%	69.5%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	21.2%	20.8%	16.9%	10.3%	11.0%	12.5%
わからない	3.5%	4.8%	2.9%	5.5%	7.1%	15.5%
その他	0.0%	3.2%	1.9%	0.6%	1.3%	1.5%
無回答	0.0%	0.8%	0.5%	1.2%	2.6%	9.0%

## 9. 人権問題への取組について

問 34 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から3つお選びください。

「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が42.0%で最も高く、次いで「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が41.6%、「学校における人権教育の推進」が39.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「学校における人権教育の推進」が5.3ポイント増加、「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が5.2ポイント増加している。



※「相談体制の充実」の選択肢は、前回は「相談機能の充実」となっている。

## 【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳と40～49歳で「学校における人権教育の推進」、30～39歳で「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」、50～69歳で「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」、70歳以上で「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」がそれぞれ最も高くなっている。また、70歳以上で「広報活動の推進」が20%台と他の年代に比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	85人	125人	207人	165人	155人	200人
広報活動の推進	8.2%	12.0%	9.7%	14.5%	14.2%	24.0%
相談体制の充実	21.2%	25.6%	28.5%	35.8%	31.6%	30.0%
人権侵害を受けた人を救済する制度の充実	40.0%	36.8%	41.1%	47.3%	46.5%	37.5%
情報の収集・提供の充実	27.1%	21.6%	20.3%	16.4%	19.4%	10.0%
国、県、市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進	27.1%	16.0%	20.8%	21.8%	27.7%	28.5%
幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進	41.2%	52.0%	41.5%	33.9%	34.8%	30.0%
学校における人権教育の推進	50.6%	39.2%	45.9%	36.4%	33.5%	33.5%
人権にかかわりの深い職業に従事する人に対する人権啓発の充実	7.1%	11.2%	8.2%	10.3%	11.6%	9.5%
社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実	45.9%	40.0%	43.5%	38.8%	38.7%	45.5%
必要ない	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	3.5%	1.6%	2.4%	4.8%	7.1%	5.0%
その他	1.2%	3.2%	1.0%	0.6%	0.6%	1.0%
無回答	0.0%	2.4%	1.4%	0.6%	1.9%	6.5%